

# 財団法人暹羅協会々報

第十二號

昭和十三年九月

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 20 1 2 3 4

贈  
皇

昭和十三年九月

財人團

暹羅協會々報

第十二號

財人團  
暹羅協會

○

## ○通 知

今般駐日暹羅國公使館が左記へ移轉しましたので、茲に御知らせ申上ます。

澁谷區原宿一丁目一四〇番地

(電話青山(36)四、三三七番)

(略圖六九頁にあり)

## 法財團暹羅協會々報第十二號 目 次

### 口 紹 寫 真

○川崎造船所建造暹羅國海軍砲艦トンブリー乗組全員 (於神戶港)

### 新聞論調報告欄

○軍政下の暹羅帝國 (アジア誌所載) ..... ヴィラード・プライス : 一

○印度支那の安全保證と暹羅帝國主義(四月、エシアチック・レヴューア誌所載) .....

### 資 料 欄

○暹羅國通常議會開會式に於ける攝政首座の演説 ..... ヴィラード・プライス : 二

○外務大臣ルアン・プラディットの放送演説 ..... 三

○元經濟相の產業五ヶ年計畫案 ..... 四

○暹羅國產棉花の概況 ..... 五

### 雜 華

○友邦暹羅を憶ふ ..... 六

九大教授伊藤兆司 : 七

- 暹羅國歴史を語る ..... ブラ・サラサス・ボラカーン：四  
 ○亞米利加婦人とプラデイット外相のインタヴュー（五月二十五日、新嘉坡フリー・プレス紙所載） ..... 呪  
 ○暹羅の現勢——ビヤ・ソン・スラデット氏、盤谷タイムス記者に語る ..... 五  
 ○留日暹羅學生に語る ..... 五・五・五・生・西

### 雜報欄

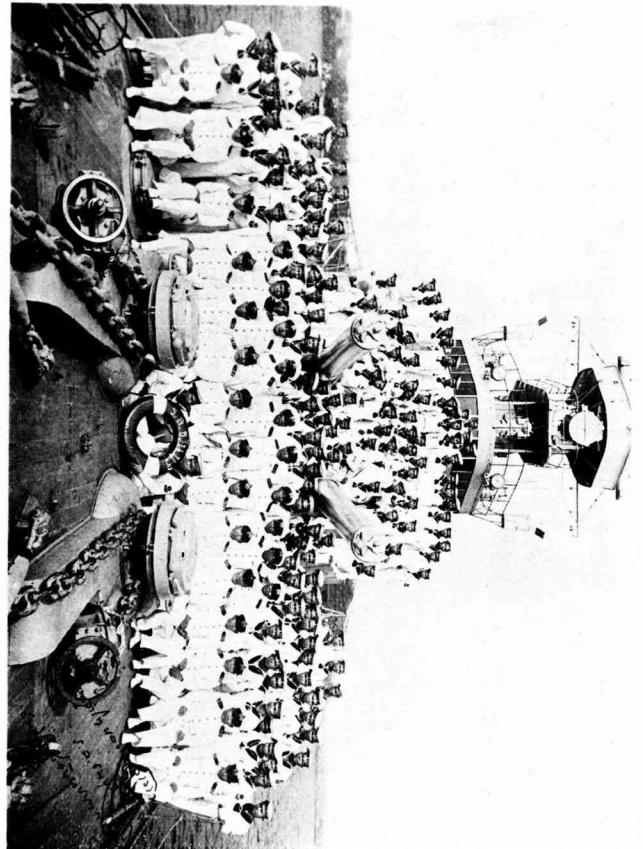
- シンゴラ港開港 ..... 天  
 ○日本製機關車 ..... 天  
 ○暹羅潛水艦盤谷著狀況 ..... 天  
 ○潛水艦の性能に就て ..... 天  
 ○盤谷築港の第一期契約調印さる ..... 天  
 ○盤谷市行政部の火葬場設置 ..... 天  
 ○元佛領印度支那總督談 ..... 天  
 ○暹羅國政府支那人教師の解僕發表 ..... 天  
 ○暹羅國海軍砲艦トンブリー受渡式舉行 ..... 天  
 ○暹羅國海軍砲艦トンブリー横濱寄航 ..... 天  
 ○元暹羅經濟大臣ブラ・サラサス氏歸暹 ..... 天

- 齊藤陸軍武官著任 ..... 天  
 ○田澤商務書記官著任 ..... 天  
 ○中堂海軍中佐並平野前三井物產盤谷支店長の歡迎會 ..... 天  
 ○前駐暹公使館附陸軍武官田村大佐歸朝 ..... 天  
 ○駐暹公使館書記官更迭 ..... 天  
 ○暹羅國燃料局長再び來朝 ..... 天  
 ○暹羅國視察旅行學生團の送別茶會開催 ..... 天  
 ○佛舍利傳達式舉行 ..... 天  
 ○暹羅國留學生の善行 ..... 天  
 ○暹羅大野象狩（クロングチヤング）映畫の試寫會 ..... 天  
 ○計報 ..... 天  
 ○會員異動 ..... 天  
 ○會員動靜 ..... 天  
 ○寄贈圖書 ..... 天  
 ○財團法人暹羅協會總裁及役員並職員 ..... 天

### 附

- 暹羅國現行輸出入關稅率表

(日本語)



1941年1月1日、蘇聯軍艦列寧格勒號在公海被擊沉。

會

第十二號

新聞論調

○軍政下の暹羅帝國

(アジア誌所載)  
ウイラード・ブライス

米國でも有數の評論家ウイラード・ブライス氏は嘗て盤谷に滞在した事もあるが先般「アジア」誌にて暹羅に關する一論篇を寄稿して「暹羅は軍政へ」といふ題下に暹羅の政治的轉換、同國の國際問題並に政策等に關する興味ある研究を發表し、暹羅は軍部の指導とその權力を基礎とする國民的發展へ向つてあらゆる努力を集中してゐると結論してゐる。盤谷の有力紙サイアム・クロニクルは五月五日付の紙上に本篇を轉載し、暹羅の國內問題や政策に關して理解の深い人々にはブライス氏の見解を全面的に是認難きものもあらうが、少くとも部外者が暹羅に對して如何なる見解を抱いてゐるかを知る事、殊に筆者が極東事情や國際情勢に關する有能なる研究者を以て目される人だけに、興味ありと評してゐる。左に全文を譯載する。

暹羅は遂に一大轉向を決意した。一九三一年、革新派は國王を退位せしめ、國民の自治を要求した。

然し乍ら民主政治といふものはジョーヴ（古羅馬の神）の頭からいきなり完成した形で飛び出す譯のものではない。先づ赤兒の状態から、徐々に且つ幾多の困難を経て次第に成長せねばならぬ。だが、暹羅は之が待ち切れない。そこで今や、全體主義的權力——即ち軍政權——といふ應急策を採用するに至つたのである。日本、イタ利、それから獨逸が斯様な軍政權下で贏ち得た成功を見るにつけ、暹羅はその理想の油に火をかけられたのだ。

暹羅と云つても、茲では勿論、政治的意味で暹羅の支配者群を指し民衆を意味しない。といふのは暹羅の國民大衆には政治的自覺がないからである。輿論などといふものがないのは言ふ迄もない、暹羅人はいつもニコ／＼しながら「多分、御説の通りでせう」といふ。暹羅の大衆は寛容であるのみならず、香氣もあり善良である。

前法律顧問フランシス・ビー・セイヤ氏は暹羅國民を「極東のクリーム（精華）である」と云ひ、現財政顧問ドール氏は「暹羅人は世界第一の美風を有する」と賞めてゐる。

チユラロンコルン王は澤山の王妃達のお蔭で子福者であり、誰でも至る所の社交場裡で王子達に逢へる。然し、流暢な英語で話しかける宮廷の紳士達のうち、どの人が果して王子であるか、判断に窮した事が屢々ある。誰も彼もが王子の様に見えるからだ。實に愛想のよい優雅な國民である。而も驚嘆すべき「お宮」（ワット）を見ても判る様に、素晴らしい美術的天稟を持つてゐる。

とは云ふものの、民主政治の準備に至つては全く未完成である。

國民の過半は文盲である。新聞紙の發行部數は盤谷以外の地では言ふに足らぬ程の少數である。實際、新聞が田舎の讀者に届く時分には舊聞に屬してしまふ。何しろ一週二本しか列車がないのだから無理もなからう。

政府はラヂオを利用する——だが之を聽く者は殆んどない。聽取者は、盤谷政府の宣傳放送よりはシンガポールの音樂放送にスイッチを入れたがる。のみならず高價だから受信機の數も少く、全部が輸入品で、一番安いのでも二十五弗位はする狀態である。

暹羅人は殆んど移動しないから地方的利害を第一とするのが常である。國民の大部分はルアン・プラヂット氏が國王を廢して發布した憲法を理解してゐない。彼等は憲法を壇の上に載せて置いたり又、地方に送られたものは民衆がその前に跪いてお祭り騒ぎへ演じた程である。大多數の民衆が全く眞意をはき違へてゐるのを見た當局者は慨嘆之を久しく述べたといふ事だ。民衆としては今後、これがお前達を支配するのだと言ひ聽かされたので漠然と此の壇の中には何か王様の精でも納められており、法典は之が壇から脱け出さない様に押へてゐるのだと想像したものと見える。

要するに暹羅では民主政治とは單なる言葉の域を出てなかつたのだ。

然るに一方、最新の政治上の流行がすつかり一變した。世界に於ける流行型は民主政治から專制政治に變つてゐるのだ。

暹羅人は專制政治の味をよく知つてゐる。國王は專制君主で而も善良なる支配者であつたから暹羅は王様に關する限り恵まれてゐたと言へる。暹羅は恐らく專制君主側へ還る事はあるまいが、日本の如く軍部獨裁になる機運が多分にあるやうだ。幼君は今や、暹羅王室に新しき役割を擔當すべく現在、瑞西で修學中であるが、これは何等軍閥の奸謀といふ様なものではなく、その當否は別として、現に暹羅に襲ひかゝつてゐる四ヶ國から來る危機を銳く意識してゐる人々の眞剣な計畫であると見える。即ち日本を除けば暹羅は極東に於ける唯一の獨立國であるが、今後どの程度

まで獨立を維持し得るか疑問なきを得ない暹羅としては、此の問題の解決を安閑として英、佛、日、支の手に委ねてばかりは居られない。

何れにせよ上記四ヶ國は恐らく暹羅の運命を決するであらうが、その中、最も弱いものが恐らく最後の勝利を得るのではあるまいか？ 戰に敗れて瓦解せる支那人が、今日暹羅に於いて大いなる力を揮つてゐる。支那人は故國が瓦解分裂しつゝあるので、今や暹羅へ／＼と雪崩れ込んでゐる。暹羅では百チカル（四十七弗）といふ滅法界な人頭税を課して、此の流入しつゝある支那人を制限しようとしてゐる。百チカルと云へば、支那人一生の貯蓄にも匹敵するが、支那人は從來より以上に、一船毎に一千とか千五百とか群をなして入國してゐる。今より二十年前の一九一九年に比し、在暹支那人は六倍の百六十萬人に達してゐる。暹羅生れの支那人は暹羅の國藉を取得するが本性は飽まで支那人である。

彼等は儉ましく勤勉だから此の國の產業を一手に收め、その利益は支那の故國へ、そして戰時財政に貢いでゐる。彼等は法律を格守するから彼等に對し何等反対すべき筋合ひはないが、暹羅人は彼等を最も恐れてゐる。彼等は實に同化力に富むからだ。

支那人は既に幾多の文化の粹を吸收し、暹羅固有の文化まで吸取らうとして居るに拘らず暹羅人は何等の痛痒を感じないのだ。學者肌のビディヤランカラナ親王の言葉を借りれば、暹羅人は「支那人の兄」であると言ふことだ。彼等は古代のタイ族で、黄河の沿岸に今日、支那人と呼ばれる種族が現はれる前から支那に在住してゐた。後に至つて支那人は次第に南下し、タイ族に併呑の脅威を與へた。一方、タイ族は支那人やその新奇な風習を受け付けて、逐次押されて南方に退き現在の暹羅に土着したものだと言はれる。

タイ族は茲で佛教僧が、印度の文化を教へるのを許し、彼等獨自の習俗と調和せしめた。彼等は獨自の生活様式を持ち、大自然に穢される事なく、而もその懷に甘んじて抱かれるが、比類なき精巧な而も無數の形刻ある陶製のブランク即ち寶塔のあることも誇りとしてよい。のみならず彼等獨自の藝術と文學、獨立等々を護つて併呑慾に燃える列強を尻目にかけてゐることも誇りとするに足りよう。彼等は支那の不幸な運命を注視すると共に支那人に支配される暹羅の姿を想起して之を警戒する用心深さがある。

暹羅が第二の恐威としてゐるのは日本である。日本は今や支那問題に没頭してゐるのでさし迫つた危険はない。だが彼等は長期計畫に對する日本の實力を知つてゐる。そして日本の對暹羅親善使節がます／＼増加するのに警戒をさせ怠りない。自分は暹羅へ渡航する途中、同じく暹羅に向ふ佛教使節團と同航した。是等の僧侶は盤谷では黄色の僧衣を着けた高僧達の出迎へを受けたが日本の僧侶達は背廣を着込んで、自國の近代化を強調してゐた。その首班者は白襟のチョッキにモーニングといふ裝立立ちで、一見して、僧侶と言ふより一ぱしの政治家らしい人物であつた。日本では此の使節團のことを報道するに當り例の如く無差別に暹羅側の温い友情を強調し、亞細亞の二獨立國が固い握手を交したと宣傳してゐる。

由來、暹羅は八方美人的に振舞ふ事を常套手段とするがこれは列強の重壓下にある弱い國として無二の賢策である。親善政策に不慣れな日本は暹羅をして誤解せしめるかも知れぬ。暹羅が軍艦を日本で作つて貰つた事は間違ひない。だがその理由は日本で建造する方が安かつたからに過ぎぬ。暹羅としては固より日暹間の接近を他の國に印象づける事を好まぬ譯ではない。といふのは之により、英佛の態度を一層好轉せしめるに役立つからである。

従つて、問題が食後の座談以上の眞剣さを帶びて來れば暹羅は必ず體を躲はすのは必定である。

数ヶ月前、ブラジルに棉花農場を有する日本人の大利權會社が、棉花栽培の必要上、北部遜羅に借地権の設定方を要求したことがある。その申出條件によると遜羅の農民に種子を供給すると共に實地に指導もし、資金も貸付けるのみならず採取棉花は全部買上げるといふのであつた。遜羅としては良質棉花の栽培法を日本人から覚えられゝば勿怪の幸である。それも日本人の指導を受けたければ受けられるのに拘らず之を拒絶した。その申請者が遜羅人でないといふのが理由である。遜羅は楔を打込まれ事を恐れるのだ。農民に財政的援助を與へる事は、不幸な結果に終つた米作問題の覆轍を踏むものである。支那人の精米工場主は農民に前貸し、云ひ值で出来米を捲上げる——斯くて借金が嵩めば田畠まで取上げ、遂に遜羅人は居抜きのまゝ支那人の小作人と化して了ふ。尤も遜羅人が支那人に隸屬したのはたゞ經濟的だけであるが、日本人となると政治的にも隸屬關係に置かれる破目に陥る惧れなしとしない。

支那人が盛んに排日ボイコットを行つて、日貨を扱ふ商人の耳を切つたりしてはゐるが、それにも拘らず日貨輸入は手堅く増加する一方だ。一九三四年度に於ける日貨の輸入額は遜羅の輸入總額の一割六分であつたが一九三七年には二割六分に上昇した。然るに英國からの輸入額は日本の半にも達しないほど減少したが、米貨に至つては三分七厘三毛に過ぎぬ。

盤谷の目抜の通りには日本人の店と米貨を賣る店とが軒を並べてゐる。下着類が第一で、罐詰類は之に次ぎ約二割五分に達する。日本人店主は損をしてまで安寧しなくとも之を四割まで昇す事は易々たるものだと豪語してゐる。日本人は考へ次第で盤谷の雜貨業と食料品業を風靡する事が出來よう。尤も彼等は目下の處、そんな氣ぶりを少しも見せてはゐない。だが、奇蹟が何か起らぬかざり遜羅の外國品販賣権を日本人が獨占するのを阻止する事は不可能である。

思慮深い遜羅人は、日本が支那を支配した暁、如何なる影響が遜羅まで及ぶだらうかを考へてゐる。盤谷の貿易事

業は今は主として支那人の手中にあり、支那人に言はせると盤谷を今日あらしめたのは實に彼等である。これには多少理由がないでもない。日本が支那の主權を握れば、日本が盤谷に在る支那國民を「保護」するのは當然であり、事實上、盤谷を「保護」する事にもなる。

次には英・佛の斷えざる脅威があり、英佛は東西兩側から遜羅を押へてゐる。現在のところ對英關係は良好で、對佛關係もほゞ同様だ。然し世界列強の世界政策が何時も必ず遜羅の福祉に留意しつゝ進められてゐるといふおめでたい空想を抱いてはゐない。小國の獨立といふものは大國の利益に一致する間だけの夢ないものである。現在のところ遜羅は一つの緩衝國をなしてゐるが英佛が提携關係にあるから遜羅は中立地帶なるの價値なく、寧ろ、大手を擴げて日本をさし招いてゐる恰好だ。目下のところ日本が遜羅を併呑する惧れはないが、萬一斯の如き危機の生じた暁には英佛はメナム河の線を境として遜羅を分割併呑し、之に依つて遜羅を保全しようとするだらう。

遜羅の感する脅威は上述の如く、相錯綜して、自然に強大な排外感情となつてゐる。一時、政府機關の各部局には例外なく外人顧問が居たがその大部分は送還された。是等の人々は多く遜羅人に侮蔑的態度を以て接したので送還の厄に逢つたのだ。然るに遜羅では外人教師に月俸六百弗（金）といふ様な此の貧乏國としては王侯を遇するが如き高級を支拂ふ事も屢々であったのに、これら教師連は遜羅に對し冷笑を與へてゐた。

此の點で憤激を買つたのは支那人でもなく日本人でもなく實に白人であつた。尤も優秀な例外的な人々もあり、政府顧問としてドルベア、ドール、グリーン、ベンドルトン氏等が舉げられ、非公式の顧問としては「Y」といふ匿名で有名なチンメルマン秘書の如きがそれである。此の人々は誠心誠意遜羅の爲めを計つた。而もなほ遜羅では事實上、歐人の豪慢に憤んで來た。これがため、遜羅としては日本が自分の身につまされて白人を見てゐるのを知つて心

密かに快哉を叫んだのであつた。

八

此の満足感は、次に誰が一體暹羅自身の身になつて日本を見るかといふ點になると、幻滅を感じよう。

暹羅は、支・日・英・佛等四つの危険を前にして果して民主政治を以て對處し得るか否かを疑つてゐる。それは牛乳養療法の様なもので實際健康を徐々に増進して行くには必要であるが手取り早く強くなるには軍部獨裁といふウイスキーの力を藉りるのが世界のならはしとなつてゐる。暹羅は天才的な模倣者であるから遂に政府を顛覆して軍人に渡して了つた。

三人を除く以外の閣僚は全て陸海軍人だ。此の三人も軍部と歩調を合せてゐるので地位を保つてゐる。三人のうちルアン・プラヂットが最も勢力を有してゐる。彼は外相であるがパリ仕込みの上に、民主政治のチャンピオン、憲法の起草者でもある。だが、今では獨逸仕込みの官僚に數的に壓倒されてゐる。軍部は一方に於いて、これら文官が民間に聲望あるため閣内に置いては居るが、政府の實權は軍部自身、完全に握つて居り、何時でも完全な軍部獨裁を多くの事が出来る。

右の如き極端な手段に依るまでもなく、彼等は望んで得られぬものがない。昨年度の暹羅の國庫歳出の二割二分は陸海軍費であつた。本年度はそれが二割八分に増大したが來年は勿論、これ以上にならう。消息通の意見では暹羅の全體主義化の大勢は今始まつたばかりのところだといふ。

軍部は獨自の民族統一計畫圖を持つてゐる。これには暹羅の國外で當然、暹羅領として返還を要求すべき地域が表はしてある。暹羅語を用ふる人民のうち千四百萬人は暹羅國內に居住してゐるが、更に實質上同じ國語を用ひてゐる暹羅人が國外に住んでゐる事はあまり知られてゐない。といふのはタイ族の分布が暹羅は勿論、東京、海南島、雲南

緬甸領シャン・ステーツ及び四川にまで亘つてゐるからだ。國內に在住する者を除き、全部外國の支配下に生きてゐる。何時の日か、暹羅の同胞を外國の桎梏から解放し、自由獨立の暹羅を中心として亞細亞に於けるタイ族の獨立大國家を建設する事が、暹羅タイ族の使命である。

軍國暹羅を必要とする今一つの理由は、右の如き軍人の叫びよりも更に一層實際的である。交渉権を持つ事これである。暹羅は列強の侵入を武力で擊退し得るほどの國家主義的自負を持つてはゐない。だが、強大な軍備を持てば對外交渉を有利に展開するであらう。次の大戰争が勃發した場合、暹羅は何等かの取引が出来るだらう。暹羅の軍事的援助を得たいと双方から持ち込まれるだらう。そこで暹羅は報酬のよい方に味方することとなり斯くして戰爭終了の場合に、分割の運命から脱れる事が出来るといふのである。

斯くして暹羅は獨裁國家の群に投じたのである。これは非難にも賞讃にも價しない。暹羅は小國民として取らざるを得ない態度を取つて、世界の流れに伍したに過ぎない。然し乍ら實際は、民主主義者たるの信念には毫も關りない程度で「黒化」しつゝある。それは民衆の側に自治の用意が整つた時に役立つ。そしてその晩には、偉大なる手本を必要とするであらう。故に肝腎な點は、大民主主義者がその信念を堅持するか否か、そして黒化の流れが自然に流れ去つた時、新しき世界秩序の基礎が存在するか否かに懸る問題だ。

新秩序が、必しも今日の所謂デモクラシーであると云ふのではない。共産主義からも、全體主義からも、將又今後生れるであらうところの幾多の主義からも學び採らねばならぬであらう。然しその基礎は必ず人民の手に握られた權力と、その權力を揮ふ資格が人民の側に出來てゐるといふ人民の組織に置かれねばならない。

## ○印度支那の安全保障と暹羅帝國主義

(四月、エシアチック・レビュー誌所載)  
元佛國境  
委員會長 フエルナン・ベルナール 大佐

一昨年十一月五日バンコツク政府は佛外相イヴォン・デルボス氏宛の文書により佛暹間の關係を律する一九二五年二月十四日付の通商航海條約を廢棄する旨通告し、昨年十一月を以て行動の完全なる自由を恢復する意思ある事を聲明した。同様の決定が過去に於て暹羅と協定を結んだ全列強に關しても行はれたが、此の事實は特に重視すべきである。といふのは右行動が双務協定により規律し得る如き孤立した個別的問題ではなく程度の差こそあれ多數國に對し一様に影響を及ぼす一般的行動であり、過去三十三年間佛暹間に維持されて來た友好關係を保持強固ならしめる爲には公平な解決を得るやう關係主要國の諒解を得る事が肝要である。

バンコツク政府の採つたニシアチーヴは多數國家の關心を惹起したが、特に我等の關する限りに於ては特別の問題を生ぜしめた。暹羅王國は西はビルマと馬來聯邦、東は印度支那の間に挾まれてゐる。我が廣大なる殖民地は暹羅と一千八百籽の國境を共にし、印度支那のラオス、カンボヂヤを貫流するメコン河は蜿蜒八百籽以上に亘つて國際的性質を有し、佛船及び暹羅船は共に自由に航行できる。最後に我が殖民建設の日以來、四十年以上の間、佛暹間には無數の紛争が繰返され、我等は過去三十年間、公平と諒解の互讐的精神を旨としてこれらの紛争を片づけて來たので

あるが、我等は紛糾時代の再現を希望しないものである。此の理由により、以下、一九二五年の條約の重要な條項を分析し、之が廢棄に依つて生ずる結果につき検討するが、その重要規定とは次の如きものである。

- (一) 一九二五年條約の第二條に於て兩締約國は以前の協定により設けられた兩國領土間の國境を確認し、且つこれが尊重につけ保障をなす事。
- (二) 同條に於て兩國はメコン河國境の全長に亘り、兩岸とも等距離の地域内に於て公安維持に要する警察力以上の武裝兵力を増加維持せざる事。
- (三) 第三、四、六條及び以下に於て、兩締約國の何れかの領土より來住する人民乃至は該國の法律に從つて設立せられた一切の會社は相手國領に於て自由に職業に從事し、建造物たると否とを問はず商工、農業等の爲め用ひらるべき一切の財産を獲得所有、賣却、移譲するの權利を享有する。
- (四) 第十五條に於て佛國は關稅及び財政事項に關し暹羅の完全なる自主権を承認する。
- (五) 條約附屬第一議定書により當時まで領事裁判權の恩惠を蒙つてゐた佛國民は暹羅法廷の裁判權に服する事。
- (六) 第二議定書は特にメコン河の航行と司法上の管轄權を律する爲め印度支那、暹羅間に補助的協定を結ばせてゐるが之は一八九三年以來、佛國のみが享有してゐたものと同一の權利を暹羅に附與したのである。即ちメコン河のタールウエヒ(註)を以つて國境線とし、同河の兩側二十五籽的地帶を完全に非武装地帶とする事を承認した。
- (註) 國際法上、河川を以て國境とする場合、該河川が航行不能なる時は兩岸よりの中心部を通れる線を以て國境線とするが、航行し得る大河ならば可航水域の中心部乃至は最深箇所(タールウエヒ)の中心部を以て決定する。

此等の規定を有したるに拘らず、若し我等にして暹羅政府の新決定に叩頭するならば條約の廢棄後、果して一日たりと雖も晏如たり得るであらうか?

今日迄の處、此等の決定に對し何國からも公式宣言が發せられてゐない。いづれにせよ、暹羅政府は、爾今凡ての外國人——從つて佛國人も含まれる——が從前の條約上、享有着した財產權を一切拒否する壯であること、及び非武装地帯を撤廢して必要とあればメコン河の堤防にも守備兵を置く決意である事を我等は良く知つてゐる。

最も重要なのは此の二點で、我等は印度支那の政治及び經濟上の利益は言ふに及ばず、その安全すら取返しのつかぬほど危くしてまで暹羅の要求に聽從し得るであらうか？

一八五六年以來、我等が享有し、且つ一九二五年まで各條約により確認、擴張されて來た財產權への彈壓は正に七十五年だけ時代を逆行し、暹羅に築かれて來た佛國移民の地位に關する一切の協定を忍ぶべからざる迄に蹂躪するを意味するものである。

就中、非武装地帯の撤廢は最も重大で、我等が一八九三年メコン河右岸地區（暹羅側）に幅二十五粍の地帶を中立化する必要を認めたのは久しう間印度支那に對し頻々として暹羅軍隊が侵入したのを防止せねばならなかつたからである。その後、一九〇七年の條約により、佛暹兩國を離間せしめてゐた紛争を解決した時、兩國間の平和關係を維持する保障として我等は進んでメコン河の左岸地帯（印度支那側）に、以前、我が暹羅に課したと同様の義務制限を受諾した。

メコン河を挿み佛暹兩國に非武装地帯が設定された事は實に兩國の友好的意圖の最も顯著なる象徴である。從つて暹羅が我等自ら締結した平和的協定を抹殺するのは如何なる理由によるか諒解に苦しむものである。一九二五年の條約調印後生じたる事件は我等が十年以前受諾した保障を廢棄せしめる所か却つて我等をして追加的保障を要求せしめている。

事實、過去十年間、暹羅は武装の手を緩めなかつた。印度支那が全國に於て、歐人、土民併せて僅か二萬五千の兵力を有するに過ぎないのに比し、暹羅は平時編制で六萬の兵力を擁し三十萬まで動員し得る狀態である。暹羅には當面すべき何等の危險なく、隣國たる英佛が絶えず懇願なる關係維持に努めつゝあり、印度支那は佛暹兩國全線に亘りカムボヂヤと言はずラオスを問はず三、四百粍以内の地には一隊の兵、一門の砲すら持たぬに拘らず、暹羅のみ獨り、陸海空軍の擴張を必要とし、之が維持に總豫算の約三分の一を費してゐるが、我等はその心事を解するに苦しむものである。

だが、此の疑問に對し暹羅政府は次の如き回答を與へてゐる。即ち、昨年四月三日、バンコツク・タイムスは國防相ルアン・ビブン氏が行つた放送演説の主要部分を發表したが、右放送は暹羅國全土に放送され、印度支那でも聽取された。次に主要點を引用して見よう。

首相は歲入の六割を軍備に充當し得る暹羅よりも幸福な國家のある事を指摘された。だが、我國は貧しく、國防の外に維持せねばならぬ仕事は澤山ある。是即ち、歲入の二割だけを國防に充當する所以である。若し軍事行動によつて得らるゝ恩惠が、之に用ひられる費用の價値より確かに大であると認められれば此の軍事豫算と雖も過大なりとは評し得ないであらう。一度、國家に於て軍備が適度の地位を占め外國人をしてその威力を認めしめる時は、何國と雖も今日の如く我らを干渉しないであらうから國家の進展は期して待つべきである。私等が教訓を求むべきは實に獨逸である。

世界大戰後二十年間、獨逸は戰敗國として劣勢軍備の苦しみを具さに體験した。ヒットラー氏が政權を握るに及び始めて軍國として義理から免れたのである。ヒットラー總統は再軍備に獻身的効力を致し首尾よく二、三年の間に陸軍力を完備せしめた。爾來、獨逸は思ふ儘の發展を抑止しつゝあつたヴエルサイユ條約を廢棄したので大小列國はこの行動に對し非難の聲を浴せたが獨逸は之に一顧だも與へず、遂に何國と雖も制肘する事が出來なかつた。のみならず獨逸は味方さへ持つに至つた。すべて斯の

如き事實は凡て獨逸が軍事的に強力化した事が知れ渡つたからである。現在、獨逸は強國としての地位を恢復しその行動に於ても他國の制肘を許さぬほどになつた。ヒットラー總統が獨權を握る前、他の獨逸政治家連は列國や國際聯盟と談判を試みたが遂に此の方法では何事も得られぬと言ふ現實を見せつけられ彼等の多くは外交により何等の成果を收めず離任した。

此の一例だけでも、獨逸が國民皆兵の徹底した軍國たるの理由により能く困難を克服し得た事情を示すに充分であらう。然し乍ら獨逸は他の事業にも着手し、再軍備なると見るや直ちに經濟建設し没頭しつゝある事を忘れてはならぬ。

我國と同様、亞細亞の一強國である日本は曾て、我國が現住占めてゐると同様の水準に在つた。即ち列國との關係では常に一步を譲つてゐたのである。然し日本は列強が急速に進歩しつゝある重要性を辨へてゐたので強力な軍隊を建設し國內を整備し、

當時、世界強國の一と目されたロシヤを破つたのは此の政策の賜である。爾來、日本は大國の列に加へられたがその間、兵力の増大を煩めなかつた。事實、日本は歳入の六割を軍備に費してゐるが、その歳入を一億四百萬銖と假定すれば、六千二百萬銖だけ陸海軍費に投じてゐるに比し、我國は陸海軍擴張のため僅かに一億四百萬銖中、二千六百萬銖を費してゐるにすぎぬ。

今日、日本は思ふ存分、兵力及び工業、商業の發展、強化に多額の費用を投じてゐるが之は偏に、他國が日本の實力を恐れてその發展を阻止しない爲めと思はれる。

のみならず外交に於ても、日本の國際聯盟代表は外交的手段に依つて當然得らるべきものが得られないと看取するや直ちに落着いた額付で總會を退場した。

伊太利は殖民地を缺く國民の爲めアビシニアを獲得せんとして武力に訴へた。その行動を可能ならしめたものは實に陸軍力であつた。他の手段では斯ほど堂々たる成功を收め、勝利を得る事は出來なかつたであらう。伊太利が大戰後、同盟國に提出した殖民地要求が適當に考慮されなかつたのは、一つに舊伊太利の軍事的脆弱性にあつた。從つて伊太利に強力な軍隊が建設され様の事業を成功に導くため軍隊を利用した事の名譽はムツソーリニ氏に與へられてゐる。

例へば、一般の獸は自らを防ぎ食を得る爲め牙と爪を必要とする、人間は生物界でも遙か高位に在りながら此等の獸に會ふと

恐怖するが、之はその面貌や音聲の爲ではなく牙や爪の爲である。虎は非常に賢明な動物で、遠征を行ふには牙や爪が捕ふのを待つてゐる。最初虎は母に依存し、穴の附近以外では狩はやれない。各國民とも同様である。彼等は何によらず事を爲すには牙や爪が出来る時まで待たねばならない。さればと言つて我等は軍隊を強化する以外に爲すべき事なしと謂ふのではない。我等は爲し遂くべき他の多くの事業を有してゐる。然しそれらの事業は前に引用した證明済みの原則に従つて行はれる事を必要とする。幸にも我政府が成就した事業は凡て右の如き原則が政策の基調をなしてゐる事を示すものである。

暹羅が隣國にその意思を強制するだけの充分な實力を養つた場合、次に如何なる事業に全力を傾倒するであらうか。是も亦暹羅政府自ら我等に表明した處である。過去二年間、現政府は全權力を奪はれてゐるチヤクリ王朝が國民の利益を裏切る事を止めなかつた事實を吹聴するに甚だ熱心であつた。彼等の言ふ處によれば暹羅は曾つて東京、北安南の上流河谿から交趾支那の境界に亘るタイ語を話す人種の全住民をその版圖内に收めてゐた。彼等が斯る由緒ある地域を維持できなかつたのは、一つに王朝政府が隣國から不正條約を暹羅に押付ける事を許した爲であつて、斯る條約は當然廢止或は改訂さるべきであると主張してゐる。彼等が抱懷する野心は最近出版された百五十年前の古代暹羅國境地圖と云ふ表題つきの陸軍測量部地圖によつても窺知される。右地圖によればシヤン國（ビルマ領）とビルマの大半及び印度支那のラオス地方全部を含み、更に東京、北安南の上流河谿及びカンボヂヤ全部を含んでゐる。

何等歴史的事實に一致しない此の空想地圖は文部大臣の命令の下に準備され一萬部印刷して暹羅國內の各學校や公共團體に配布され、余も亦一部を得たが二、三枚はケー・ドルセー（佛外務省）に送られた筈である。

既述した演説及び宣傳物などに依つて見るに汎ダルマン運動の如き手法が明瞭に看取され、過去の經驗から考へて此種の表現を極めて重大に考へざるを得ない次第である。

暫く前に暹羅の國防相が行つた帝國主義的主張は、既に別の時期に於て確認されてゐる。嘗つてメコン河とメナム河の河谿に支那の國境から暹羅湾に跨がる大帝國が存在し、英佛は之が滅亡を望んでゐるが暹羅政府としては之を再建する權利を有してゐるとの主張が目下バンコツクに行はれてゐる。然し乍ら之は四十年の昔、既に流布されたるものでこれ位の嘘はあり得ない。

情勢は昔に較べて一變してゐる。一方に於て我等の利益と英國の夫れとは合致し、暹羅が隣邦に對し危險極まる帝國主義的政策を採るのを阻止するため、我等英佛は協調して共同戦線を張るであらう。然し乍ら今日の暹羅は以前に比して餘りにも危険な存在である。前世紀の終り以來、暹羅はあらゆる方面に於て著しい進歩を遂げた。各國から招じ來つた歐洲人顧問の助力に依り、暹羅は殆んど排他的に暹羅人官吏のみの指揮する行政制度を設け、裁判所を組織し、大土木事業に着手し、大陸軍をも編成した。暹羅はメコン河左岸に於て、我等がラオスに於て同じ政策を行つてものに匹敵し得ない程の尊嚴を住民間に得てゐる。余は暹羅の主權に服する住民の物質的及び精神的地位を佛領ラオスに於て我等の主權下に慘めな生活を送つてゐる土人の地位とを簡單に比較するの愚は望まないが、不幸にもラオスは佛領殖民地の中でも最も物質的進歩が遅れ、必要な施設が最も等閑に付され、事業情態頗る悪く、請負の濫用により苦情が百出してゐる土地である。従つてバンコツクの恩恵を頼りにしてゐるラオス人の政治とビアンチアン駐在官の權力下に服するラオス人の政治との差別を確めるため之が調査を行ふ事は有用、且つ必要である。若しメコン河谿に於ける印度支那の安全を確實ならしめんとすれば先づラオスに於ける大改革を實行せねばならぬ。然し乍ら此等の改革は多年の日子を要する上に現實の事態をも認識してかゝらねばならぬ。若し暹羅が明日にでも非武装地帯に進駐し、メコン河の堤防に守備隊を置くなればその結果、重大事態を惹起し、ラオスに於ける我權力は一大動搖を來すで

あらう。

更に豫め防止し得ざる事件が極東、就中太平洋岸に勃發した場合、我が國境に接する地方に暹羅軍隊が存在することは印度支那の一般的防衛組織を不可能ならしめる恐れが多分にある。

余は以上に於て暹羅政府が發展することに依つて生じ、一九二五年の條約廢棄として現れた運動が黙過し難き重要性を有する所以を説明した。余が最近、此の問題に關して會談した元外務省の官吏であつた某氏も亦、余の心痛に共鳴し、暹羅の企圖に對し效果的な反対をなし得ず、暹羅はその理論を辯護するため目下、廢棄を主張しつゝある條約に庇護を求めるることは疑いないと云ふ意見を吐露した。彼は結論として切迫した紛争を回避する唯一の手段はヘーネの國際裁判所に提訴する事だと考へてゐる。

然し乍ら、此問題は余はその有效性を否定しないが單なる裁判的調査にして仕舞ふ事は出來ない。我等は固より、メコン河兩岸の非武装地帯設定が一八九三年の條約に淵源を發し、一九二五年の條約により維持強化された他の義務によつて取つて代られた事を否定するものではない。然し條約正文を批判、檢討し夫れから抽出された結論のみを以てしては一國の安全を確保するに充分でない。國際關係を正常の軌道に載せるには意圖及び主義、環境、事實等を考慮參照する必要があらう。何れにせよ暹羅の所謂權利なるものも勝手な要求により隣國に生ずる可能性ある反動の爲め遂には自縛自縛の形とならう。若し必要とあれば暹羅は更に陸軍を擴張し、部分的乃至は全國的動員を行い、軍隊を我カンボヂヤやラオスの國境附近に集中するかも知れぬが、何人と雖も暹羅の政策が、尋常の手段であり印度支那側の緊急對抗策が非であると主張することはできない。

久しう間、我等に反對的行動を探りつゝある隣國が、最近實行に移され、とどの詰りは武力闘争にまで進展せざるを

得ぬが如き政策を復活する事を許す譯には行かぬ。今日と言はず、我等は過去三十年間築かれて來た暹羅との善隣關係を維持するため常に努力して來た。だが、バンコツク政府が採つてゐる態度と非武裝地帶占領とは侵略性を露骨に示し、メコン河鉢のみならず延いては極東全體に大波動を及ぼすのではないかと我々は憂慮するものである。

巨大なる太平洋の將棋盤上に於て、暹羅が我國とその同盟國乃至は盟邦に反感を有する國に操縦される惧れある事實を蔽ふ譯にはいかない。我等が不斷の友好的態度を示つゝあるに拘らず隣邦暹羅國が只管好戦的準備を整へるのみならず、先の鬭争が暹羅國民に不愉快なる印象を與へたのを拂拭するため互惠的に保障を約束することを申出でたのに對しても之を拒否するが如き態度に出でた心事を解するに苦しむものである。

我等は實力を以て挑發に答へる意思は毛頭有しないが、即時、之が對策を講じないならば、漸く印度支那は窮地に追込まれる事とならう。之は我等が暹羅の陸軍を誇大視する爲めでもなければ、又臆病風に吹かれた爲めでもない。之偏へに、我等が今保護しつゝある印度支那大衆の安全と幸福を顧慮してゐるからこそである。四十年以上も経過した今日、暹羅軍が非武裝地帯へ入る事は獨逸のライン蘭ド進駐が歐洲に大衝動を捲起したのと同様の印象を與へるであらう。我等にして既成事實を承認するすれば我等が今日享有し、陸軍力以上、有力に印度支那を支配し、秩序と公安を維持しつゝある佛國の威信は安南人やカンボヂヤ人、ラオス人等の眼前で失墜するであらう。従つて、若し恐るべき面倒を避けんとすれば、此の點に關し久しう抜かれなかつた僥倖の寶刀を鞘走らねばならぬ。一九二五年の條約廢棄通告のち相當の時日を経過してゐる。未だ何等の對策も講ぜられてゐない、恰かも暹羅から何事か申出があるのを待つてゐる恰好である。隣國が十一月にメコン河岸に軍隊を置く可能性或は我方が同様の方法で之に答へる必然性について先見がなかつたやうである。今こそ、即時、重大決意をなし、態度を明かにする秋であらう。更に暹

羅に於ける我が移民が享有してゐた權利に對する壓迫或は平和の基礎たる安全保障の拒否を認めぬ旨を廣く聲明せねばならぬ。又、直ちに印度支那にある陸海空軍を増強し、充分なる兵力を非武裝地帯に近いルアン・プランバやバクセではなく、暹羅の首府から飛行距離一時間の處にあるバッタムバン乃至はモンコルボレイに集中する必要がある。遂行すべき任務は重く國民が想像する以上に深刻である。右は極東に於て此等遠隔地の進化を指導する立場にあるのみならず、更に壓倒的な利害關係を有してゐる歐洲列強の威信問題でもある。今日政權を握る人々により暹羅國內に於て行はれてゐる宣傳といひ、暹羅國防相の放つた恫喝的演説といひ、凡て過去二ヶ年間民主國家の弱みにつけ入つて惹起された心理狀態の一表示にすぎぬから我等は如何なる代償を拂ふとも之に對し飽くまで對抗せねばならぬ。前に引用したルアン・ビブン氏の演説中、最も重要な點は明確なる武力禮讃であり、又一擊をも與へず易々と勝利を收め得るには欲する處を元氣よく表明するに限るとし、英佛の如き大國は權利を主張するため野蠻な行動に訴へ兼ねぬ國家に對し必ずしも反対するものでないと盲信してゐることである。

日本の露國に對する勝利は當時亞細亞民族に恐るべき影響を及ぼし我等歐洲人は均しく一陣の逆風を感じたものである。若し明日にでも暹羅の如き小國が佛國に對しその意思を承認せしめるに成功したら何うであらう？ 今や本國自身及び自治領の安全を保障するためシンガポールに强大な海軍根據地を建設した英國、東印度の領土維持により漸く生存してゐる和蘭、米國、露國等々——は一樣に、暹羅が何日か、大火事の火附役を演するのではないかと凝視してゐる。

何日かは國際聯盟に訴へて暹羅の見習支配者どもをたきつけてゐる帝國主義的思想が平和に對して重大なる脅威をなしてゐるか否かを決定せしめる事が來ないとも限らぬが、目下の處では斯る手段は夢に等しい。國際聯盟は今や八

方塞りの状態であるから飽までその役割を果すやう強制し得ない。然しあはは最近の事件から得た教訓につき検討せねばならぬ。ゼネバの決定は之に缺くべからざる行動手段によつてベックされない迄も、兎に角一應信を措くに足る。而して此の決定は之を尊重する人々には一般的命令として崇められる利點があるから佛國の如きは斯る考慮を無視し得ぬものである。

之を要するに、英佛兩國はそれ／＼割當でられた役割を果す準備をなし、目下進行中の再軍備工作が單なるこけ骨してない事を示す決意をなし、以て協定の時代は過ぎ去つたことを思ひ知らさねばならぬ。若しそれでも暹羅が誇大妄想的政策を持続するならばその時こそ暹羅は忽ち脣を噛むであらう。

## 資料欄

### ○暹羅國通常議會開會式に於ける攝政 首座の演說

去る六月二十四日開會せられたる暹羅通常議會の開會式上攝政首座は次の如き演説をなされた。

議員諸君

本日は通常議會開會の日であると同時に、臨時憲法發布六周年の記念日に當つて居るのであります。回顧すれば過去六年間、暹羅は國力發展充實の方針を採用して不撓不屈の努力を續け來り、憲制實施後目覺しい進歩を遂げたのであります。

茲に参列の議員諸君は任期僅かに半歳を経されたのみでありますも、其の間の仕事は我が國運の發揚と國民の繁榮に不尠す裨益するところあつた事を證明して居ります。又議會の信任を得た政府は熱心に慎重に國政を運用したのであります。前議會の閉會後、四ヶ月の短期間に政府は對内的にも對外的にも共に大いなる業績を擧げ得ました。先づ國內問題に就いては、政府は短期間に各分野に於て剣切なる活動を行ひました。例へば政府は暹羅國の獨立と隆盛を確保する國防力の充實、從來の強制徵募制を廢して、多數の志願警官の採用に依る警察官の増員斷行、又懲治

施設の改造、國民保健の増進、道路の改正、灌漑、栽培の改良、農事試驗所の設置等を豫定通り開始し、先に我が政府の聲明した政策に依り、經濟並に交通の發展を目的とする各種產業特に機械製造工業の勃興に留意し、一方教育方面に於ては豫算の許す最大限の事業を爲す等、各方面に汎つて活潑なる事業を爲したのであります。

轉じて對外問題に就いては、吾が國は既に數ヶ國間と通商修好條約の批准交換を了し、他の諸國間との批准交換も近日中に成立すると信じて居ります。吾が政府の堅持せる根本原則は世界各國との公平不偏の親善關係の樹立にあり中庸態度の維持及び平和の尊重を外交政策の終極目的としてゐるのであります。變轉極りなき國際状勢の中にあつて吾が政府の方針は不變にして、今後益々友交諸國との平和の維持、均等待遇の嚴守に邁進するであります。

是より通常議會の開會を宣ずることは余の欣幸とする處であります。  
希くは佛陀三寶及び宇宙諸靈の加護に依り議員諸君が凡ゆる災難を免かれ、絶大の心、身、智力を得て暹羅國及び國民の繁榮發展を來らしめん事、及び諸君の活動が成功を收め、吾が國の長足の進歩に貢獻あらん事を祈る次第であります。

## ○外務大臣ルアン・プラディットの放送演説

聽衆各々位

今日六月二十七日は國王陛下が臨時憲法を宣布せられて丁度六年目に相當します。當時憲法發布請願に對し人民黨を支持せられた暹羅國民の協心共力に想到するときは誠に感慨深きものがあります。暹羅に憲政實施せられて以來の

施設及び成果につきましては、過日人民代表議會通常議會開院式に與へられた攝政首座の御言葉と、それから二十四日總理がラヂオを通じて放送せられた講演とに於て述べられた通りであります。

昨年私は國民各位に對し各國との交通關係の增進に共力せられんことを御願ひしたのでありましたが、各位の此の協心共力の結果は完全に我が希望通り法權の獨立、經濟の自主を新條約の締結によつて獲得したのであります。此の件に關しては素より瑞西、白耳義、瑞典、丁抹、北米合衆國、那威、英吉利、伊太利、佛蘭西、日本、獨逸、和蘭等各條約調印國の我國に寄せられた好意を感謝する次第であります。各條約は夫々批准交換を終つて暹羅國は茲に各文明先進國と伍し得る平等の權利を獲得したのであります。我國と各締盟國との友交關係は愈々之を敦厚ならしむることに努力しなければならないのであります。

我國の今後は何等の制限なく自由の立場に於て躍進をなすべき時代に入つたのであります、無制肘なる活躍も或は出來得るのであります。此の活躍の成果であるべき物資商品は當然市場と資本に依存するものでありますから、我々の活動を容易ならしむる爲には當然國際間の協助に依據しなければならないのであります。

我政策は一つに各國との友好關係を助長するにあつて、如何なる國に對しても侵略の意圖を有してをりません。只我等の獨立を確保し、之を我が國家及び國民の爲に善用する意圖を有するものであります。如何なる行動を起す前にも我等の現狀を考慮しなければならない。そうして我等の現狀は技術と資力の不足を明示してをる。隨つて我國現存の領域を開發するにも尙ほ幾多の長日月を要するのであるから、我々が他國の侵略を意圖するなどは全然根據なきことである。依つて各位の現政府の政策を諒解せられて各種の不祥なる流言に脅かさることなき様切望する次第であります。過去に於て政府に寄せられた各位の熱愛なる協助が如何なる方面に於てなされたるを問はず、願はくば同じ熱

意ある協助を我國憲政有終の美を濟さしむる爲に繼續せられ、各位の各自の職業に忠實に各自の經濟的隆昌を招來し因つて以て國家の福祉を増進せられんことを切望する次第であります。何卒憲政治下の要諦である正義の生活を送られて、彼のクロムビヤワチラヤーンウォロット法新王殿下の仰せられた愛、慈、信は世界の支柱なりとの格言を確守し、此の態度を以て同胞及び世界の人類一般に對處せられたい。斯くて健康と幸福は其の身に至り體ては國利に貢獻する次第であります。

私は佛陀三寶及び宇宙諸靈の加護により各位が彌増して憲政治下の幸福と隆昌を享樂せられ、各位の希求が憲政の限度内に於て悉く満されんことを祈つて私の御話を終ります。

法は法を守る者を保護す。

私は佛陀三寶及び宇宙諸靈の加護により各位が彌増して憲政治下の幸福と隆昌を享樂せられ、各位の希求が憲政の限度内に於て悉く満されんことを祈つて私の御話を終ります。

**○元經濟相の産業五ヶ年計畫案**

暹羅國元經濟大臣ブラ・サラサス氏は日本に滞在すること三ヶ月、銀行、貨幣、財政等各般の研究を終へたので六月廿九日退京、歸國の途についた。氏は歸國の上、政府に對し經濟開發五ヶ年計畫案を提出する旨であるが、現時的情勢に於いては自由放任主義の行はれぬ事は明白であり、さればといつて國有主義で進めば官僚主義の弊を免れぬので全產業、交通運輸、農業開発等に携はる主要會社は須らく官民合同に依り設立さるべきであり、之には政府及び一般個人の企業家は何れも半額づゝ、資本を持寄るべきであるとの見解を持してゐる。從つて同案が政府に依つて採用されば、暹羅の海運、郵便、電信、鐵道、洋友製造、紙業等の特殊會社を含む一切の會社はこの基礎の上に置かれることがならう。氏は出發に先立ちジヤバン・アドヴァアタイザーピー記者に左の如く抱負を披瀝した。

### (一) 外資と技術家の導入が急務

政府は所要資金には事缺かぬのと、産業開發の爲め、最も必要な土地と労働力が豊富なことは強みである。だが、缺

點として次の二點を擧げる事ができよう。即ち第一に個人の資金が不足である。之が對策として政府は最初の中、投資額を餘計にするか或は外資の輸入に仰いでも間に合ふであらう。而して第二は事業を運営する専門家のない事である。従つて、この方面を擔當せしめる爲め、外國の技術専門家を招聘する事が急務である。既に比律賓から招かれて來た地質に關する米人専門家は暹羅國中央部方面に於いて適作（土地に最も適當する農作物）を選定するため調査を進めてゐるが、斯くの如く外國の技術専門家を雇用することは、結局外資の流入を導く所以である。

### (二) 産業開發五ヶ年計畫の重點

余の提唱する五ヶ年計畫案に於いて、先づ第一に着手すべきは二つの港（盤谷及びシンゴラ）の擴張並に水運、電力、農業等を開發すべき二、三の特殊會社設立である。

**水力電氣の開發** 就中、最も必要なのは、河川を利用する水力電氣の開發で、低廉なる電力こそ先づ第一に解決すべき問題であらう。之さへ實現されば、餘の工場など自づと興されるのみならず、鐵道の電化も可能である。山地から平原への距離がある爲め送電費に喰はれ、電力料金を不廉ならしめるが、適當の河川が多いので、日本ほど廉價且つ豊富には供給し得ない迄も、相當發電費用を低下せしめ得るであらう。

**輸送機關の整備** 國内の輸送力には、よく均衡の取れた河川を利用するのが得策である。之には、筏による運輸會社を設立する必要がある。而して他の要地間の輸送は國有鐵道（將來、半官半民の會社とされよう）に依り、また、短距離間は自動車に依るが便利である。政府は目下、一千二百萬弗を投じて自動車道路を建設中であるが、完成を見る迄には三ヶ年を要する。

**港灣の浚渫擴張**　外國貿易は目下の處、實力の半ばを出でぬが、之は港灣が遠淺で、沖合に於いて荷を積替へる必要があるので船貨が割高となつてゐるからである。盤谷港の改造工事には約一千二百萬弗を要する。一方馬來半島の南部にあるシンゴラ港の改造については未だ計畫の域を出でず、見積りもされてゐない實情である。

**農業の科學的開發**　農業振興策としては作物を多角化するのが要訣で之には一大開發會社を設立して近代的機械力により廣大なる土地を大々的に開發する必要がある。將來、生活程度が向上した暁には、小農地による個人農業などは經濟上、全く不可能とならう。また、作物についても、新計畫では米作など重視されず、寧ろ、棉、煙草、大豆等に重きが置かれよう。既に、煙草や大豆は改良されたが、黃麻及び棉については目下、試験中である。棉作試驗の結果に依れば大體テキサス種とエデブト棉との交雑種が適當と認められ、將來を嘱目されてゐる。

### (三) 半官半民會社に編成替へ

政府直營の製紙及び製糖會社は、五ヶ年計畫の最後年に於いて何れも生産力が三倍となり、個人經營の洋灰會社も四倍の能力を有することとなる。これらの會社は、將來、何れも半官半民の會社とする。

鐵業も亦、同様の體制下に置かれるが、國內埋藏資源の完全なる調査は既に開始されてゐる。褐炭を初め、石油、鐵、錫等のあることは一般に知られてゐるが、さて何の位あるかは不明である。だが、右につき、何等かの具體案が出来るまでには之が存否と分布につき或る程度明確にして置く必要がある。

經濟及び財政制度といふものは、時の社會情勢に即應せねばならぬ。若し之に反すれば忽ち失敗に終るであらう。

世界大戰以來、各國は何れも貿易を或る程度統制し、自由放任主義を廢棄した。暹羅政府が飽まで統制乃至は管理を行はず、官僚主義の弊と無能ぶりを發揮するに過ぎず、延いては國民を徒らに支配壓迫する結果とならう。

余は、全事業を擧げて、半官半民の體制下に置くことを提唱する。斯くすれば、別段統制する必要がないのみならず、民間投資家は政府自ら事業に關係してるので無税地その他の便宜が得られるものと見て積極的に乗りかゝつて来るであらう。現存の外國會社は右の如き半官會社に入つた方が便宜を得るから當然之に加入するであらう。とは言へ同案は、外國會社に對し加入を義務的ならしめるものではない。

### (四) 機械は日本から購入

運輸交通の爲め、多量の石油を必要とするが之は米國から購入すればよい。次は機械類であるが、日支事變の終結と共に日本の運輸會社は廉價な機械類を生産するやうになるであらうから、之を日本に求めればよい。

工業と同様、農業方面に於ても廣く機械を使用するのが緊要であるが、さればと言つて日本と同程度にまで工業化す意圖はない。暹羅は將來と雖も、農業國たるの特質を捨てぬであらうから、工業化と言つても、たゞ、他の純農業國が行つた如く、他の工業國により支配されるのを防止する程度に止めんとするに過ぎない。

## ○暹羅國產棉花の概況

### 一、產 地

暹羅國に於ける棉花の主要產地として數へらるゝものは左の諸地であり、何れも河川又は鐵道を利用し得る運輸に

便なる地方に限られて居る。

1. 北

チエンゼン、チエンマイ、スワンカローク、ビサノローク、ランボン、ランバン

2. 東

部

コーラツト、ウボン、コンケン

3. 中

部

ナコンバトム附近

右の内スワンカローク、ウボン、コンケン等は産出量最も多く且つ品質優良なる爲特に重要な産地として知られている。但しウボン地方のものは盤谷市況思はしからざる時は往々にして河川運搬の便を利し、佛領印度支那に搬出され、同地産のものとして輸出せらるゝ爲、盤谷と地方諸港よりの輸出統計には現はれない事が尠くない。

栽培業者は大部分支那系暹羅土民にして、往年は其の栽培方法に何等の考慮を拂はざり爲、收穫量、品質共に遠く米、印、埃等に及ばなかつたが、一九三五年暹羅農務局は棉花栽培を重視し、指導者として邦人農學博士三原新三氏を聘し、栽培方法を研究し併せて農民に棉花栽培の有利なる事を極力宣傳すると共に政府試驗場を設けて本格的栽培に着手するに至つた。

ナコンバトムには臺灣拓殖株式會社の經營に依る棉花栽培園ありて既に三千畝の棉花植付に着手し本年中に相當量の收穫が期待されて居る。

二、輸出數量並に金額

一九三一年四月より一九三七年三月に至る過去六ヶ年間の輸出状況を左に掲ぐれば

年 度	一九三一年—一九三三年		一九三三年—一九三五年		一九三五年—一九三四年		一九三四年—一九三五年		一九三五年—一九三六年		一九三六年—一九三七年	
	數 量 (擔)	金 額 (銖)										
一九三一年—一九三三年	二、二九七	二、五五五	一、〇三二	一、〇三二	一、九二七	六、二四七	六、二四七	二二、九九九	一五二、一三九	二四二、四五〇	一一七、〇七五	八七六
一九三三年—一九三五年	二一、四〇七	二〇、一三八	九、〇三九	一、九二七	一五、一五七	二六、九三一	二六、九三一	六四〇	一四九九	五、六一	五九、二五一	八二
一九三五年—一九三四年	六四	一、二三二	一、九六八	二	二八	六四〇	六四〇	八三	一、九六八	一七、一五八	一七、一五八	二九
一九三四年—一九三五年	六四	一、二三二	一、九六八	二	二八	六四〇	六四〇	八四〇	一、四九九	一七、一五八	一七、一五八	二九
一九三五年—一九三六年	六四	一、二三二	一、九六八	二	二八	六四〇	六四〇	八四〇	一、四九九	一七、一五八	一七、一五八	二九
一九三六年—一九三七年	六四	一、二三二	一、九六八	二	二八	六四〇	六四〇	八四〇	一、四九九	一七、一五八	一七、一五八	二九

右統計の示す如く一九三一年より三五年に至る間は平均輸出數量は二千ピカル内外であつたが農務局の栽培奨励と米棉の暴騰により日本への需要當國に向けられた爲棉花の栽培に從事するもの激増し收穫量の増加と共に農村の財政も亦潤ひ、其後二ヶ年間に於ける輸出量は激増するに至つた。

更に一つの原因是一九三六年日本向貨物の運賃引下に依り、特に日本向の輸出が旺盛となり、產地に於ける滞貨又は從來佛領印度支那方面に搬出された棉花が盤谷の相場高に依つて呼集められた事である。

此の日本向輸出旺盛となつた事は左記各國別輸出統計に依つて明らかである。

年 度	一九三四年—一九三五年		一九三五年—一九三六年		一九三六年—一九三七年	
	數 量 (擔)	金 額 (銖)	數 量 (擔)	金 額 (銖)	數 量 (擔)	金 額 (銖)
一九三四年—一九三五年	六四	一、二三二	一、九六八	二	二八	六四〇
一九三五年—一九三六年	六四	一、二三二	一、九六八	二	二八	六四〇
一九三六年—一九三七年	六四	一、二三二	一、九六八	二	二八	六四〇

米 英 國	新 嘉 坡	日 本
一	一二三	三、三四六
八三	一、五七四	一、一八
	九、五二二	一一、六七八
	七〇二	一六、四四八
	一五	一五五、六二八
		六六〇
		六、二〇〇
		六六〇
		一六、四四八
		六、二〇〇
		一五五、六二八

斯くして一九三五年政府の獎勵もさる事乍ら實際問題としての價格騰貴が滯貨並に佛印への移出分を盤谷に集め一九三六年四月より一九三七年三月に至る一ヶ年に於て遂に約二萬三千擔の日本向輸出を見るに至つたのである。

### 三、產地盤谷間の取引事情

產地商人と盤谷商人との取引條件は當事者間の信用狀態に依り種々異なるが、信用ある盤谷商人へは單に販賣値を指定するのみで委託送貨を爲し、信用なき者に對しては三分ノ一程度の前渡金を要求して居る。

又双方が信用篤く相互の貨物取引額が稍同等なる場合は、單に仕切値を決定するのみで其都度一々決済せず一年一回支那正月前に總決済をするのが普通である。即ち、產地よりの棉其他の物産と盤谷よりの雜貨類とを夫々仕切値によりて記帳し、年一回相殺し帳尻を決済するのであつて、廣義の物々交換取引である。

### 四、品種

品種は大別して一級品二級品の二種に分つ。一級品は纖維長く、柔軟強韌にして容易に種子と纖維とを分離し得るが、二級品は纖維短かく稍硬く、種子と纖維との分離一級品の如く容易でない。

次に產地別により品種を見るに大體に於て高地に產するものは、二級品にして、低濕地に產するものは一級品たる

價値を有し、此の種別は二三年前に於ては頗る明白であつたが、昨今は栽培方面の技術進歩し一見して識別し難い程度となつたが、尙依然として二種類に大別されて居る。  
華僑の取引上の種別は第一、第二の二種に分ち產地名を附して格付して居る。  
参考の爲一九三六年七月大阪鐘淵紡績株式會社に於ける暹羅棉と米棉との比較試験表を左に掲げる。

備 考	右試験の結果により暹羅棉概評を左に項を分ち掲げば		
	A、暹羅一級品	B、暹羅二級品	C、米綿 (ミツドリント)
スカッチング(打別工程)に於る綿屑%	二・一八	二・六七	二・〇〇
カーデイング(梳棉工程)に於る綿屑%	五・九五	六・四五	四・〇六
右二工程に於て生ずる綿屑% 合計	八・一三	九・一二	六・〇六
絲の張力(封度)	五九・〇	五〇・〇	五四・八
一時の長さに於る撚數	二一・九	二一・九	二一・九
一分間のスピンドル迴轉	二、一〇〇	二、一〇〇	二、一〇〇
備 考	粗 剛	粗 剛	平 常

### 1. 品位

色白く光澤あるが少々汚點があり、特に二級品は汚點多く、外觀惡く、種子の混合率が多い。スカッチング、カーデイング二工程により生ずる屑は米棉に比較して、一級品で二・〇七%，二級品で三・〇六%多い。

## 2. 繊維

繊維の長さ平均十六分の十五吋で、米棉より長いが長さ不揃である。

長さ不揃のものの混合率は暹羅棉一級品二三・六%，同二級品二五・三%，米綿一四・八%である。

棉の纖維組織が粗い爲、絲の張力は纖維の長い割合に少々弱い。

### 3. 絲

張力は一級品は米棉より八%程強いが、二級品は米棉より九%程弱い。

絲の色は米棉よりの絲の色と同様であるが neps(節) 其他混合物(小葉苞)は米棉より多い。

### 4. 結論

暹羅棉よりの絲の張力は大體一級品、二級品を平均して米棉よりの絲と同様であり、従つて暹羅棉は米棉の代用品として使用し得るが纖維及び絲に種子、小葉の混合多く、必然的に米棉と混合して紡績用として用ひられる割合は少く、最高混入率一〇%乃至二〇%と思考せられる。

### 備考

右表に於る試験に使用せられたる實付棉は、一九三六年三月盤谷に於て大阪東洋棉花株式會社一社員により實付棉(種子付の儘)として購入・大阪へ送付、大阪の練綿工場に於て練綿とされた。

右試験表により紡績用としての品質が良く判明した。

棉纖維と種子との割合は一級品で三三%乃至三六%，二級品で二九%乃至三二%が纖維、残り種子と云ふのが最も普通である。

## 五、包裝

### 1. 產地よりの包裝

普通產地よりの包裝は圓筒形竹籠(二呎×二呎×六呎)入であるがランパン、ランボン地方よりのものは往々にして、ガニ一袋入なるものあり。

正味容量は竹籠入約二百三十斤、袋入五十斤で風袋は竹籠二十斤乃至二十四斤、袋一斤である。

大きさは竹籠二十四才、袋四才が最も普通である。

### 2. 輸出包裝

輸出包裝は從來は竹籠の儘であつたが、最近はプレスして麻袋地布で箱形に包裝し、鐵帶を掛けて居る。其の容積は普通三呎半×二呎半×二呎半で入目約三ビタルである。

之は次章運賃の項を見れば明らかなる如く容積順當りの運賃に對應する爲從來の包裝では運賃高率となる爲、可成容積を小さくし、入目を重くする方法が研究されて來たのである。

## 六、運賃

棉の運賃は直航路、新嘉坡又は香港積替の双方共、幾多更改を経て居るが其の大略を左に述べれば、

### 1. 直航路

一九三五年迄は殆ど凡ての商品に對し一率に、順十七銖五十士丹の運賃を固執し、自方の割に嵩高きものは容積順により、容積の割に重きものは重量順により計算せられて居り、棉の如く輕量にして嵩高きものは容積順(四十立方呎)十七銖五十士丹を課せられて居た。

従つて既述の竹籠入のものを積むとすれば僅かに二箇足らずで一噸となる。即ち約四百五十斤を積出す爲に、十七銖五十士丹を支拂ふ状態であつた。

斯かる運賃にては直航路を利用する事は殆ど不可能で、大部分は香港又は新嘉坡へ積出され、其處より積替の上日本へ積出されて居た。其の理由は香港、新嘉坡積替の運賃算定は重量順に依る爲である。其後一九三六年に至り、西貢よりの棉運賃を基準とし、始めて重量順當り八銖の運賃の決定を見た。之が前述の日本向積出の最盛期を現出せしめた原因である。

然し乍ら、斯る容積大なる貨物を米の如く荷役迅速にして積出數量も亦甚大なる貨物と比すれば汽船會社としては當然更改の必要を認む可きで、其後は米の積出量の如何により幾多の變移をみ、結局現在の容積順當り八銖五十士丹と成つたが、之も其の才取法の綱嚴に依り多少の差ある事は已むを得ない。然し可成容積を小さくし、一個當りの重量を大にする爲、プレスして四角に包裝する必要を生じ、此處に始めて米棉其他に倣ふ包装が生れたのである。

## 2. 積替積送

香港又は新嘉坡經由の積出も運賃種々に改められたが

陳慶利公司

五福公司

ボルネオ・コンパニー

等の近海航路小汽船に依つて行はれた。

之等の汽船會社は運賃を重童順に依つて計算する爲非常に低廉であつたが帝國海軍の支那沿岸封鎖以來利用し得なくなつた。

## 七、棉の栽培

高地に於ては雨期の初期に土地を整理して點播とし、高さ二尺内外に達すれば摘心する。然るに播種早きに失する時は乾期に繁茂し、結穎少く、且第一回收穫は雨の爲廢物となるから播種後三ヶ月内外で乾燥季節に入るもの結果が最も良い。高地にては二年、三年株出を試みるものもあるが病蟲害が多くなる。

蟲害の内最も甚だしいのは蚜蟲の一種で棉狀の物質を體に纏ふ蟲であり、繁殖迅速で、且つ多數の蟻に依り諸方に移植され、忽ち栽培地一面に害を逞しくする。次は Red Back と稱する蟲で棉の殼を害する程度も勢くない。低地に於る栽培は河水氾濫前に雜草を刈り水中に浸沈させ、努めて漏水を入れ、減水するとも直に耕鋤することなく、其儘播種し密生するを俟つて漸次間引するのである。

播種期は普通雨期の終りであるから降雨に逢ふこと少く地下の濕潤と空氣の濕氣によりて生育する、從つて乾燥甚しき時は萎縮して充分なる發育を遂げられない。收穫は三月末から四月中に終るが、出荷は六月以降である。

## 八、暹羅棉花栽培

栽培面積約三萬二千畝、其の一畝當りの產出量は河川沿岸の肥沃なる地方に於ては一ピクルを産するが、其他の地方は一畝當りの產出量は極少量に過ぎない。一九三三年四月より一九三四年三月迄の統計にては、總產出量、三萬一千九百四十七ピクル即ち畝當り一ピクルに過ぎなかつた。

依つて其の栽培方法の研究、施肥の如何に依つては頗る將來性ある事は論を俟たないが土民の資性怠惰にて施肥の

觀念乏しく、且つ栽培に關する研究心少きは遺憾である。

氣候は雨期、乾期劃然として區別され、雨期中に成育を遂げ乾期中に收穫されるのであるから雨の爲に品質を害したり損害を被る事少く、棉花栽培には好適の條件を具備して居るから、其の將來性は價格の安定、運賃の低廉、外國の定期的需要の三點に懸つて居り、此の三點が確立されば所有耕地を棉花栽培に利用するもの、增加する事は必然的であつて輸出も大に好轉すると信する。

三原博士は百萬俵產出可能性を斷言し、第一次五ヶ年計畫を以て十萬俵迄の增産を發表して既に三ヶ年其の結果は着々として成功して居る。

前記臺灣拓殖の事業も創始せられ遙羅人の研究無くば邦人之に代つて研究し増産に努力する途開けたるを以て棉花

栽培は愈々本格的に行はれ輸出も之に追隨して増加する事と推論し得る。

(盤谷貿易斡旋所報告)

## 雜苑

### ○友邦暹羅を憶ふ

九大教授 伊藤兆司

筆者は昭和十年春より暹羅政府に招聘され同地官立文政大學に於て農業經濟、其他を教へて居られた方である。十一年五月歸朝、日下は九大農學部教授の職に居られる。本文は筆者が本年々頭九州日報社へ寄稿せられたるものであるが、同氏の承諾を得て茲に轉載することとした。

南京落城の直前——詳しく述べ昭和十二年十二月八日前一時——盤谷に於いて日暹商條約の改訂が兩國間に成立した由を新聞紙は吾人に報道した。日本國民は今支那大陸に神經を集中してゐるのでこの一つの新事實に就いて左程の關心をも持ちあわせぬかとも想像されるが、私はこの一つの事實と今爾の日支問題とが洵に淺か

現在南亞細亞の經濟的並に政治的支配權は殆んど英國

らぬ連關係を持つものであることを敢て指摘し度い。而してこの一つの事實こそは今日本に負はれてゐる重大な責任、即ち日支問題の根本的解決に就いて或る示唆を吾人に與へてゐるものと解する。

の手中に在る。三億五千萬の印度大衆と六百萬の馬來及び北ボルネオ住民とは完全にユニオンジャックの下にいた、六千萬の蘭領印度民衆も蔵亦二千數百萬を算する佛印領度支那の土人等も、各々その母の支配に甘んぜねばならぬ所以はこの強權の持主たる英國を背景としてはじめて理解されるのである。故に苟くも南亞細亞に關する限り佛蘭西と和蘭とは最高指導者たるこの英國の弟であり且つ從僕なのだ。

△ △ △

英佛兩植民地の間に挾まれ世界大戦に及ぶまで辛うじて形式上の獨立を保ち得てゐたに過ぎなかつたのは暹羅である。此の國は、それまでに其の領土の大半を英佛兩國から奪はれ、剩さへ治外法權の重壓下に苦しんでゐるものである。然るに大戦に及び英佛の翼尾に附して歐洲戰線にすら僅少ながら派兵をしたことが此の國の前途に一大光明を投げた。即ち其の功績は治外法權の徹廢を以て酬ひられたのである。此の徹廢は、併しながら、決して英佛兩國によつて先づ爲されたものではなかつた。米

國こそは其の先鞭者であつた（一九二〇年）。日本の如きは寧ろ最も後れて之を徹廢した國の一つに屬し恰も英國の眞似をしたに過ぎぬ。

暹羅と主要列國間の修交條約は既に期限が經過し今將に改訂の時期に在る。随つて此の際條約の改正を行ひ名實共に完全な獨立國として其の地位を他の列國みなみで昂さむとすることが、此の國當面の外交的重要問題である。之に對して從來幾多の權益を持つ英國、佛蘭西が容易に青年暹羅の願望を容るべくもない。這般の事情に就いては日清戰後に至るまでの日本を顧みればよい。此の時に當り日本は敢然イニシアチーブを探つて諸列強を尻目に友邦暹羅の獨立性助長の爲め大乗的な態度を以つて此の條約改正に先鞭を着けたのだ！數少ない東洋の獨立國と日本外交史上特筆すべき日本の此の先鞭こそは其の意義洵に大なるものがあると思ふ。之れ即ち盟邦滿洲國に對する治外法權の徹廢と兩々相俟つて近來稀な痛快事である。英國も佛蘭西も對暹羅關係に就いては日本に隨伴すべき運命に置かれたのだ。而して此のフェアヒット

こそは既に暹羅と交渉を持つ一部の識者によつて屢々當局に要望されたところであつたが、當局は今日に至るまで之を爲さむとして而も敢て斷行し得ざりしこころである。

△ △ △

暹羅には現在百數十萬の華僑即ち支那人が住み國內の經濟的實權は殆んど此等の華僑によつて握られてゐる。而して日支關係の尖銳化は直ちに此等の有力な在留支那人に反映すること勿論である。満洲事變以來彼等は例の抗日を屢々繰返し日貨の不買は勿論支那本國の抗日教育その儘を在留青少年に施さむとするこも敢て不思議でない。暹羅政府は徹底的にこの排日教育を彈壓し來つてゐる。在留支那人學校の教科書檢閱官として日本の一法律博士を任命してゐるほどのだ。警察權は嚴として此等華僑の排日的奮鬥を許さない。更に外交的にはジュネーブに於て二回に亘る棄權を以つて日本に臨める程にして我國の津々浦々至るまでも此の事實は感謝を以て迎へられてゐるのだ。最近の數年間に於いて暹羅は日本より

農業、工業、學問等に關する指導者を招聘し、目下實行中の海軍擴張には殆んど大部分の軍艦建造を日本に託文し、暹羅として絶に重要な盤谷の港も其の築港に就いて先年國際聯盟より派遣された専門家の立案を排し最近日本の設計案を採用するに至つたとも傳聞する、暹羅國の將來を双肩に負ふ陸海軍の青年將校や壯年文官の留學地としては最近主として日本が選ばれてゐる。一昨年農林省が從來の經濟省から獨立するや其の部局の如きは殆んど吾が農林省のそれと異なぬほどにして日本文物は青年暹羅の勃興に寄與するところが歎くなし。

暹羅が專政の狀態から立憲政體へと變革を達成したのは去る和昭七年の夏であつた。現外務大臣ルアン・プラヂット博士は文官派の先頭に立つて新進の武官等と協力し以つて此の偉業を遂げたものにして、今新興の意氣盛んなものが青年人暹羅の勃興に努め寧日無き有様である。新政府が抱懷する理想の一つは英佛の羈絆を斷ち切り名實共に獨立した民族國家を完成する點に在る。隨つ

て青年暹羅の行動は御殿女中式な英佛から白眼視されることも屢々である。恰も無邪氣な新妻と邪見な姑との關係に於けるが如く！色々な雜音はシンガポールから世界各地に放送される。殊に英本國に向つて！更に此の種のデマは歐州から無電、新聞を通じて暹羅に逆輸入される。併し日本の報道陣はこれをキヤツチして此等の逆宣傳を封すべく餘りに視野が狭い如くも感ぜられる。否日本耳目は從來北部支那にのみ集中し居て中南支へすら及ばなかつたほどなので、國民は日本の南なる側近地域の出來事を恰も遠き世界の出來事として殆んど注意しなかつたのである。斯くて吾人は英國が日暹兩國の間に水を差す工作の實に易々たるものゝあることに注意せねばならぬ。デマの二三を紹介すれば實に左の如くである。曰く暹羅より日本へ空軍根據地の提供、クラ地峡の開鑿：此の運河が通すればシンガポールの現在有する軍略的並に經濟的意味の大半は消失し暹羅と印度洋とが直接連絡するのである：に關する日暹の密約、日暹軍事同盟密約の成立等々。シンガポールの Free Press 紙が今次遅延

羅の採れる國際聯盟會議に於ける棄權に就いて論じてゐる一文の如きは英人の對東洋感の一班を示すものとして吾人の参考となるであらう。同論説は「暹羅のジレムマ」と題しその内には次の如き威嚇的な悲鳴の一節を見出す  
「暹羅が深く考へねばならぬことは世界の紛争に當り何時も中立的態度を執ることが強ち必ずしも利益を獲得することは斷言されぬことである」今や民主國は結束を固め國際法を無視して憚らざる諸國と雌雄を決する時期が近付きつゝあることを牢記せねばならぬ「要する亞細亞のバルカン、暹羅が果して火中の栗となるかならぬかは最近の國際状勢の上に投ぜられた大きな謎である」と

△ △ △  
アジア人のアジアに自覺めて果敢な行動を示しつゝある青年暹羅の姿を今涙ぐましく打ち守りつゝ一步退いて爾餘のアジア地域に思ひ及ばずとき果して如何！没落政權と殆んど無關係な支那四億の同胞達は今満喫しつゝある塗炭の苦しみがその根元を奈邊に見出されるべき乎に就いてこの際眞面目に再考すべきである。

然るとき吾等の親愛な隣人諸君は暹羅の諸君が到達しつゝある同一の根元を見出しえるであらう。  
隣邦支那不幸にして思ひ此處に及ばずとするも支那の四園を繞らす東洋の諸民族がこの皇道日本を真に理解し日本と手を連ねてアジア人のアジア實現の一歩を踏み出すに到らば日支の親和は又自ら生れるを得ぬであらう東亞永遠の平和は斯くの如くして我々に近づくであらうエジプトより中央アジアを経て南は印度大陸や蘭領印度に又北は蒙古へ達するまで廣大な地盤と人口を以つて示される回教徒の社會と我等とは親しさを増さねばならぬイタリーの如きは既に此等回教諸民族に温かい手を差延

## ○暹羅國歴史を語る

(暹羅國元經濟大臣ブラ・サラサス氏は去る五月十三日汎太平洋俱樂部午餐會に於て次の如き興味ある講演を試みられた)

太平洋沿岸諸國の親善を深め、且つ意志の疏通を圖つて、眞に相互の理解を容易ならしめる爲め、本日恒例の

午餐會が催され、茲に主賓として私を御招待頂き内外皆様と席を同じゆうするを得ましたことは私の最も光榮

とする處であります。

諸君の溢るゝ如き御温情は危惧の念を冰解せしめて、諸君が私の拙い話を御同情を以つて御静聽下さるとの期待を私に抱かしめたのであります。私は暹羅人の一人として諸君が我が祖國を訪問せられ、一般に未だ知られざる我が民族と深交を結ばれんことを御願致します。初めてタイ族の發祥地である支那の一部に目を向け度いと存じます。我々は暹羅人を自由人の意味を有する「タイ」と呼んでゐます。これは我が民族が已に身命を自由の祭壇に過去に於ても捧げて來たのであり、又現在も捧げて居り、我が民族の血を以つて領土の保全と自由を持し得た事に依ります。

我國の歴史は現在支那本國となつてゐる廣東を距たる二、三哩に存在してゐた一國から始まつて居ります。一七二年、マルコボーロは支那の南、南西に支那民族でなく、且つ支那語とは異なる國語を語り、支那から獨立してゐる様に見える一民族を發見しました。之がタイ族で當時を過ること僅か十九年前、乃ち一二五三年に行はれ

た大移住の殘留民であつたのであります。タイ族と支那族とは同種族ではあります、兩者は完全に分離してゐて絶えず戦争を行つてゐたのであります。タイ族は紀元六九年、漢朝の Mingti に一度征服されたことがありますが、七九年にはタイ族は矛を執つて起つたのであります。然し衆寡敵せずして鎮壓されてすひました。此の中の一部は北部シャンステートに移住したのであります。

紀元一二五年、タイ族は再び矛を執つたが目的を達することは出来ませんでした。然し遂に六五〇年には支那軍を殲滅し Simulo と稱する王の下にナンチャヤオ（現在の雲南地方）なる強大なる一王國を建設して唐朝の Kao-tsung と條約を締結したのであります。七四五年、更に西藏に進軍し、七五〇年には支那に侵入して三十二の町を占領しました。七五四年支那軍は復讐戦を開始しましたが、惨敗に了りました。七九四年、タイ族は再び西藏に侵入して更に多數の都市を占領したのであります。八五八年東京を侵し、八五九年には更に廣大なる領土を占領して Tsui Lung 皇帝治下の帝國は大なるものとなつ

たのであります。更に再び支那に侵入して多數の町を占領しました。八六三年、タイ族は全安南を征服し、八九〇年再び支那に侵入しました。支那の皇帝は頻々たるタイ族の侵略に疲れ切つて、遂に八七七年、タイと和睦を講じその皇女をタイ皇帝皇子の妃としたのであります。支那歴史に依りますとナンチャヤオ帝國は甚だ強大で、よく數百年間支那に抗してその國家を存續し得たのであります。唐朝時代の記録ではナンチャヤオ王國は組織整ひ、その内閣には商業大臣をも有してゐたとのことです。而して國民は巧みに木綿並びに絹織物を織り、裕福でその軍隊は革製の軍服を着用し、又既に漢文を用ひて讀書をして居つたとのことです。宗教は佛教でありました。

斯くして幾十年も太平と榮華の夢を貪つて來たタイ族は一二五三年、不意に忽必烈に襲撃されました。忽必烈は大暴風の如く全ナンチャヤオ王國を掃滅したのであります。國內は殘る間なく蹂躪、町々は掠奪され、財資は盜み取られたので、そこで現在の馬來半島へと大規模な移動を行つたのであります。當時この地方を Suvana-

bhum と云つてゐたのは、莫大なる富を所有してゐるところから黃金の國との意味なのであります。タイ族は此半島に定住しました。Rhys Davids に依ればその領域はペギュから全馬來半島に及んで居たとの事であります。この黃金の國の土着民は Samang、Wa、ラワー（ラオ）、クメール等の諸種族で、クメール族はペギュ及びカンボジヤ人の祖先であります。

クメール族はヒンズー文化を吸收して非常に進歩して居りました。印度の佛教王アソカが Kalinga を征服した時、印度から Brahmins を放逐してしまつたのですが、彼等はカンボジヤへ逃亡しきしました。ヒンズー藝術はクメール藝術となり、Brahmins はカンボジヤの王となりました。六〇年間（八〇一—一八六九）この地を統治した Jayavarman 二世が彼のアンコール・トムを建造し、Suvarman 一世がアンコール・ワットも建造したのであります（一一〇〇年）。工事が終了せぬ中にカンボジヤ王の權力は北方から、移住して來たタイ族に顛覆されたのであります。其後に至つてカンボジヤ全土

はタイ族に征服されてしまひました。それ以來カンボジヤ人及びベギュ人は熱心な佛教信者となつたのであります。支那の歴史に依ればタイ族が占領した右の如き全領土は支那の領地であると主張して居ります。然し之は何も難くに當らないことで、支那年史にはヴィクトリア女王さへ支那皇帝の臣家なりと書かれてあるとのことです。八五七年タイ族の第一回移民が行はれた際に、その途中ラワ族と交戦して之を征服し最初の君主Prohmの下にMuang Fangを首都としましたが、一二三八年、タイ族は完全にカンボジヤを征服して、首都をバヤオに遷しました。最後の大移住民は一二五三年此地に到着し、ラムカムヘン王の下にソコタイを首都としました。その領土は東、安南、東京に、西、ベンガル湾、南、全馬來半島に及んでゐたのであります。支那の勢力を徹底的に排除する爲めラムカムヘン王は暹羅語のアルファベットを發明しました。之は四十四の子音と十二の母音から成り立つて居りました。今日に至るまで引き續き使用せられて居ります。この王の死後、國は三つの獨立州に分裂して居ります。この王の死後、國は三つの獨立州に分裂して居ります。

十七世紀、當時アユチャヤは尙首都であります。多數の日本の浪人が暹羅に來ました。山田長政もその中の一人で、暹羅人は之等日本人を歓迎厚遇したのであります。長政は二、三百人の日本人武士を以つて編成した暹羅王護衛隊の隊長であります。長政の助言に基いて日暹兩國間に親善關係が結ばれ、貢物が數度暹羅王と家康將軍との間に交換されたのであります。家康は鐵砲と火薬を暹羅から入手したい野心を有して居たのであります。

す。Ekatosarot 王の時に Phra Nai Wal なる家臣が日本人浪人の援助を得て王位顛覆の陰謀を企てました。

そして皇太子はこの陰謀に加盟の罪ありとされてゐたのでありました。父王は既に老境に入り、皇太子の企みを非常に憂慮してゐたのであります。後に皇太子は苛責の念に堪へず、遂に閑死したので、第二皇子が王位に即きました。Phra Nai Waiは王位を算奪せんと企てたのでありますが、山田長政の忠誠に依り鎮定せられ、王はこの逆徒を斬首しました。暹羅在住の日本人中、百人よりなる一團はその一味でありますので、同じ運命に會ふことを怖れて手に〜獲物を持って王室に押かけ、自分達に都合の好い幾多の條件に王の血判を捺印せしめました。その結果日本人に敵対した多數役人が虐殺されました。ついで之等日本人は首都を掠奪して戰利品を得てベチャブリへと立去り、其處に要塞を築きました。王は軍隊を出動せしめて、之等叛軍を攻撃してベチャブリを陥落せしめたが、國王は強迫の上作成せしめられた證文の約束を守り、その生命は宥してやりました。長政

は此の叛亂には参加しませんでしたし、且當時非常な信望を得て、セーナーピモツク卿の稱號を授與せられたのであります。徳川將軍は日本人の非道を聞き、國王に不忠なる日本人の生命を宥恕すべきでないと書を送りました。

王の治世の終り頃（一六二八年）朝臣間に王位を継つて紛争が生じ、一派は王の弟を、他の一派は王子を擁立せんとしたのであります。長政は王子派に加擔し、その権勢を以つて國王をして王子を皇太子なりと宣言せしめました。王弟は捕へられ洞窟へ投込まれたのであります。臣下の一人が救出することに成功しました。王弟は忽ちに大軍を起して、町々を占領しましたが、結局再び捕へられ死刑に處せられました。新王は輪僅かに十五歳でした。時の將軍ビヤ・カラホームは王位に即かんとして陰謀を起し、終に宮城に攻め入つて王とその他を捕へて打首としたのであります。そこでビヤ・カラホームは即位せんとしたのであります。長政の反對に會ひ、その結果十歳の王弟が即位したのであります。プラ・カラホームは

長政を逃避けんと欲し王の命令なりとて、長政を南方馬來半島の領地ナコン・シリタマラートの暴動鎮壓に出動せしめました。長政はこの危険なる使命を首尾よく成遂げましたが、歸京は許されずして同地の領主に封ぜられました。長政を放逐して後、彼は國王を撲殺して其後に王位につきました。間もなく長政は毒殺され、その息子は他の日本人と共にカンボジヤに逃れ去りました。徳川將軍はこの篡奪者の承認を拒絶しましたので、その報復手段として首都（アユチャヤ）の日本人町を襲撃して幾多の日本人を虐殺しましたが、大部分はカンボジヤに逃れ事なきを得たのであります。

バタニはカンボジヤ同様獨立を宣言しました。王は孤立に陥りましたが、和蘭人の援助を得て、彼のイヴァンの恐怖政治にのみ比肩し得るテロルを以て暹羅を統治しました。王は一六五六年に薨じ、その長子が王位を繼承しましたが、僅か數日にしてその叔父に捕へられて殺され、叔父は王位に在ること三ヶ月にして又その弟ブリ

ンス・ナーライに捕へられ殺されました。プリンス・ナーライは斯くて即位しましたが、新王は慈悲深く善政を行ひましたが、その治世は日本の明治大帝の黃金時代にも比し得るものであります。王は都をロップブリに遷しました。暹羅がボルトガル、オランダ、イギリス、フランスと言ふ如く凡ゆる外國列強の爪牙を次々と逃れ得たのは實に同王の英邁、深慮、才智に依るのであります。王は諸列強に均しく門戸を開放して貿易を行ひ、條約を締結しました。次いで王はフランスの援助を得て順次ボルトガル、オランダ、イギリスを擊退しました。王は又凡ゆる失地を回収し、カンボジヤ、ビルマを屬國とし、ベキュ及び馬來諸聯邦を領地としました。王は一六八八年に薨去しましたが、その後繼者ブラ・ペトラデヤ王は算奪者にしてタイラントでありました爲め、その惡政に苦しんだ人民は暹羅國內到る處で内亂を起しました。この王は一七〇三年死し、その從兄が即位しましたが、これは先王にも劣らぬ深酒と放蕩に身を持ち崩して、一七〇九年に身終りました。當時暹羅は歷代君主の惡政の爲に不安のどん底に呻吟してゐたので、カンボジヤは分離し

他の領地もその例に倣ひました。一七六九年、ビルマは此の機に乗じて暹羅を侵略せんと大軍を派遣したのであります。十四ヶ月間の包囲攻撃の後にアユチャヤは陥落しましたが、當時將軍連中は全部王命に依り投獄されて居り、首都を防禦するものとては僅かに下士官のみでありました。王は逃亡しましたが、後に死體となつて発見されました。ビルマ人は暹羅の他の地方は未征服の儘で子弟を人質として拉し去り、アユチャヤ警備の爲めに少數の軍隊を駐屯せしめて引上げました。ビルマ人に反抗したとの理由で王から辱められたプラ・タクシンは部下五百人を集合して、アユチャヤ警備のビルマ人を虐殺しましました。次いでタクシンは兵を募つてビルマ人の各要塞を略奪して廻り、次で他の獨立せる全領主を或は征服し、或は平定して暹羅を統一し、即位を布告し、首都を盤谷に定めました。カンボジヤは叛亂を起しましたが、再び鎮壓され、ビルマは新手の軍勢を以つて再び一七七四年暹羅に攻來りましたが、撃退され、その損失は甚大なるものであります。これが最後の暹羅戦争となりました。

一七八一年、プラ・チャツクリと稱する敏腕の將軍はタクシン王よりカンボジヤの叛亂を鎮定するやうにと命ぜられたのであります。チャツクリはその軍隊を盤谷に進軍せしめて王を捕へて殺し、即位して現王朝の始祖となりました。王並にその後繼者も善政を行ひましたが、暹羅は此の間に英佛兩國の爲め幾多の領土を失つてしまひました。一八二四年にはビルマの四州が英國の手に移り一八六七年には數百年間暹羅の權力下にあつたカンボジヤを佛蘭西に取られたのであります。一八九八年暹羅は日本との國交を再會しました。

現王朝の諸王はいづれも善良且つ仁慈に富んでゐましたが、それにも拘らず專制政治の例に洩れず國內は萎微の極に達しました。一九二九年の世界經濟恐慌の嵐が暹羅にも真正面から吹きつけて来まして、暹羅は經濟的滅亡の危機に瀕したのであります。民心は漸く專制政治に倦み、先見の明ある士は秘密結社を結んで現政體を顛覆し國を滅亡の危機から救はんとしました。之等結社の一つで、六十名よりなる「人民黨」は一九三二年六月二十

四日の拂曉、政府要職の全貴族を不意に襲撃して就寝中

を逮捕して人質として拉し去りました。當時のプラヂヤチボック王は同黨から暹羅を民主主義國家に改變すべく憲法に調印を強要されたのであります。此の王は其後退位して現在英國に餘世を送つて居られます。王位は十四歳の皇甥が繼承しました。此處に於て人民黨が政權を獲得し、現在暹羅政府の運用者となつて居るのであります。以上私は暹羅の政治的方面を御紹介申上げたのであります。次に經濟方面を述べさせて頂き度いと存じます。暹羅は黃金の國と稱せられるだけに天然資源に富んで居ります。現政府はこの天然資源を開發して國富とするやう盡力して來たのであります。外國列強との不平等條約に依り妨害されて居りました。之等の條約は丁度二、三ヶ月前平等の基礎の下に修正され、今暹羅は經濟計畫の樹立に懸命の努力を拂つて居ります。暹羅は友邦日本を良き手本とし、地球の一角に更に旭日の昇天を見ることも遠い將來でないことを私は切望するものであります。斯くて東洋は順調に進展し得ると信じるのであります。

## ○亞米利加婦人とプラディット外相のイン ターヴュ一

(五月二十五日、新嘉坡フリードレス紙所載)

東洋に十年間も在住してゐたモナ・ガーデナーと稱する一亞米利加婦人が數日前暹羅外相ルアンプラディット氏とインターヴューをなした。外相は九年間佛蘭西に留学してゐたので佛語は非常に流暢で大抵佛語を以つて語るのであるが、以下は正しい英語でボツリ／＼と話されたものである。さて問答は例の如くおきまり文句で始まつてゐる。

暹羅は決して特別な親善關係を一國とのみ結ぶものではない。日本と暹羅との關係は十指に餘る外國との關係と少しも異なる處はないのである。暹羅は日本に產業方面に於ても通商方面に於ても特權を與へては居ないし、將來に於ても斯る利權を與へるなどと云ふ考へは毛頭有

ます。

暹羅は既に世界の諸國に互して重要國となつて居ります。佛蘭西に飛行するには僅かに四日半を要するに至る迄、今や暹羅は歐羅巴に接近したのであります。盤谷はジャヴァ、サイゴン、香港へと岐れる四つの歐洲航空路の集合點となり、各航路とも毎週二回の定期空輸を行つてゐるのであります。

以上諸君に我祖國暹羅を極僅かな言葉ではあります。御紹介申上げる機會を得ましたことは私の甚だ欣快とする處であります。そして諸君が暹羅の間をお踏みになる機が御座いましたならば親しく國內を御覽下すつて、暹羅人と氣楽に御交りなさいますやう御願致します。例へ暹羅へ御出でにならなくとも、世界の一隅にある暹羅てふ國に御寄せ下さいました御友情を私は常に忘れる事が出来ないものであります。云々

して居らぬ。我が國は他の諸外國に許可しないものを日本のみに許可した事は未だ曾つて無いのである。實際或る點より云へば新日暹條約は（例へば英暹條約と比較しても）遙かに多くの制限を有してゐて、新條約では日本國民は暹羅に於て土地の享有を許されないのである。これは日本が外國民の日本に於ける土地の享有を禁じてゐるからである。

暹羅の急激なる成長の結果、新條約又は改訂條約の締結が必要となつて來たのである。吾國は既に國內治安の維持を保ち得る裁判所、裁判官、憲兵隊等を具備せる近代國家であつて、吾國在留外國人の安全は保證し得るのである。右の如き暹羅の發達は治外法權を不必要な古

代の遺物に歸して了つた。

亞細亞の諸國に比べて暹羅は小國であり、且つ貧しき國である。而のみならず、我が國は五年に亘る政治變革の困難な時期に直面しつゝある。諸外國は我が國の外交政策を勘なからず誤解してゐると思はれる。暹羅は亞細亞最弱ではない事をはつきりと申上げる。吾國は西洋人を國內から驅逐しよう等とは毛頭考へてゐない。

然し何よりも先づ第一に暹羅は暹羅人の爲の暹羅である。我が國の愛國精神は暹羅國民の爲め吾領土を安全ならしむる様努力するにある。我が國の陸海空軍費は實にこの目的達成の爲に支辨されるのである。而も吾國の國防費は全歲出豫算額の二〇%を要求してゐるのみである。今日の如き状勢ではこの國防費の支出を以つて吾國を好戦的なりとは云ひ得ないのである。『亞細亞民族の亞細亞』主義に關して考慮した事もなければ何等宣傳した事もない。我々は西洋諸國の援助を離れては一週間もやつて行けないのである。暹羅の如き貧小國は強大國と親善關係を保持せねばならない。我が國は農業國で米作によ

五〇

り生計を立てゝゐる。我が國は工業國ではないし、又工業國たらんとは聊かも希望してゐないのである。我が國を工業國たらしむるに足る天然資源を我等は有してゐない。

今日暹羅に關して可成多くの誤報が世上に流布してゐる様に思へるが、之は非常に遺憾に堪へない處である。余は斯る誤報の訂正を切望する。元來、我々は足るを知る民族であつて、我が國は貧乏であるとは云へ決して餓える事はないのである。

我國民は足れるを知つて領土的野心を有してゐない。我國の面積は佛蘭西と略々同様であるが、人口は僅かに佛蘭西の四分の一に過ぎない。この事實が外國人に徹底的に了解されれば、我が國は『亞細亞人の亞細亞』なる信條に何等注目してゐぬ事が分明となるであらう。余個人の意見としても斯る主義に關しては疑ひをもつものであり、次の質問を試みたいと思つてゐる『亞細亞人の亞細亞』を建設した場合、次に来るものは何か。建設の完了の後には如何なる展望が見込まれるか。亞細亞民族の

中に紛争が起つて、その中の一國が弱を振はんとするのではないか。

苦し右の如くであれば余は紛争の起るを豫見するものであるが、その結果暹羅の得る所は何であるか。暹羅は世界諸國に均しく門戸を開放して居る。西洋諸國との通記)

## ○暹 羅 の 現 勢

ビヤ・ソン・スラデット氏「盤谷タイムズ」記者に語る

ビヤ・ソン・スラデット氏は最近盤谷英字新聞紙「盤谷タイムズ」記者と會見、暹羅の現勢に關して意見を發表した。スラデット氏は一九三一年暹羅クワダター1指導者の中の主要人物で政變後支那を觀察、現在はチエンマイの軍官學校の教官をなしてゐる。ス氏はクワダター後はどちらかと云へば隠退生活を送つてゐたのである。

「國民は新憲法の精神を理解してゐると考へられるか」

の記者の質問に對してス氏は、

記者「暹羅人民は憲法に依つて約束されてゐるが如く

五一

「その質問に答へる事は非常に六ヶ敷いことである。暹羅一千四百萬同胞の中、極僅少な部分が憲法の精神を理解してゐるのである。而もその上に我等は自由を有してゐる於てをや」云々（其の後本文一部の訂正談とも認めらるべきものが盤谷外務省談として發表された。編者記）

政府の主権を官選議員の手から民選議員の手に委ねられる時期のために充分なる責任觀念を準備してゐるであらうか。』との質問に對して、

ス氏「十年経てば國民は徐々に責任を果し得る様になるであらうが、そのためには憲法に關する知識を博く知らしめねばならない。十年後には現在エキスパートと目される。第二種議員（官選）は無くなり、他の有識の士がその地位を占めるであらう。」

記者「然し、知識は經驗を通じてのみ得られるのである。其の一方法は政黨の設立である。此れに對する貴見如何？」

ス氏「政黨の結成と云ふことは長所も缺點もあるもので余は此の問題に對して定見を有してゐない。余は今政黨を作る事は時期尚早だとは云はないが、議會でも問題となつた様に憲法が運用されたのは極最近の事だから、斯る政黨の結成を考慮する事はやはり時期尚早なりとの意見に賛意を表したいと思ふ。此所數年ならずして國民は更に政黨の利益を知るに至るであらう。故に余は時期

を待つべきだと思ふ。その重要性を知らずして政黨を組織する必要は少しもない。英國の政黨は立派に行つてゐるが、それと云ふのも幾十年間かゝつて今日の如く作り上げられたからである。現在暹羅に英國流の政黨制度を持ち込むことは渾沌を捲起すのみである。それはさて置き、若し政黨が組織される場合黨數は少くなければならぬ。私は黨數の多いのはよくないと信じてゐる。記者「何故貴下は官界から事實上の隠退生活をなしたのであるか？」

ス氏「余がクウダターーに參加したのは國民が今迄通りの安泰なる生活を今後も續けるには政府要人の更迭を必要とするに信じたからである。目的達成の上は余は政治の運用を同志に委して政府の行政部から隠退した。個人的には煩しい政治生活よりも隠退生活を好むのである。余はチエンマイに住んで軍官學校の教官をしてゐる。同校に現在二十六人の教官がゐて兵の訓練に當つてゐるのであるが、余はこの職務に身心を打込んでゐる。」

記者「若し求められれば貴下は閑僚たる事を承認され

るか」

ス氏「自分はこの方面には何等希望を有してゐない。假令それが多數の希望であつても、政界に入るかどうかは甚だ六ヶ敷い問題である。誰でも責任ある地位を引受けける様依頼された場合その責務を負ふに充分なる價値あるものでなければならない。假令衆人が余の就任を希望してゐても、余は此事をよく熟慮しなければならない。その後できへも余の考へが如何なるものであるかは確言する事は出來ない。」

記者「政治的指導者にとつて才能が根本的なものではない。信賴がなければならない」

ス氏「信賴と才能は共に缺くべからざるものである。人民は政府を信頼し、政府は有能で國民の利益を擁護する事が必要である。信頼と有能とは常に國民と政府をして國民の利益、暹羅の文明進歩に協力するに役立つものである。」

現在暹羅にはデモクラシー思想が指導精神となつてゐるのが、凡ゆるところに感ぜられる。余は心から今後も

吾國民がデモクラシー思想によつて啓蒙される事を希望する。我々が一身を賭してクウダターーを斷行したのもこの爲である」

記者「現在の暹羅の外交政策をどう思ふか？」

ス氏「私は暹羅が各國と親善關係を保つて行くと云ふ現在の外交政策には賛成である。暹羅が某國を疎略にする傾向があるとの噂が世上に流布されてゐるが余は斯る噂は信用しない。暹羅は小國であるが領土的野心は何等有してゐない。暹羅の希望してゐる所は唯隣國との平和と親善、國民の満足と繁榮である。暹羅は凡ての外國居留民が現行規則を遵守する限り今後一町重に取り扱ふものである。」

## ○留日暹羅學生諸君に告ぐ

### 五・五・五 生

我が國滞在暹羅學生の現數は百名を越へて居る。過般學生仲間で暹羅在日暹羅學生學友雑誌を發行した。本記事は其の中の一文の反譯で執筆者は五五と云ふベンネームを使用して居る。暹羅本國の新聞雜誌上でも同一筆名で屢々財政、經濟に關する寄稿が見受けられる。略ぼ其何人であるか想像も出来る。

余は曾て教壇に立つたことがあり、且つ暹羅國家興隆には異常なる關心を有してゐるものである。これが爲に曩に勃發した重大政變に際し余は辛うじて虎口を脱した。余は在外留學生の動靜につき尠からざる興味を有してゐるが諸君に於ても余と同様な氣分を懷き諸君が余の留學生に關する意見の披瀝を待望してゐることゝ信する反覆して言ふ迄もなく（暹羅人は余の性格を熟知して居るが）余は衷心正義を愛好する者である。從て余の在外暹羅學生觀は天真爛漫にて一點の修飾もなく又作爲もなない。余は日本に在る學生諸君に對して遺憾と思はるゝ點

と欣快と考ふる點とを茲に吐露し度いが第一に遺憾に思はるゝ點の方から述べて見やう。

余は暹羅學生中の或者は日本人に對して未だ無理解である事を殘念に思つてゐる。歐米に在る暹羅學生よりも日本在暹羅學生の方がどの位優遇されてゐるか判らない。日本政府は暹羅學生を一箇月三十五圓程度の低廉な費用で收容せんとする寄宿舍設立を企圖してゐると聞いてゐる。又日本人程、暹羅學生に親切にして鄭寧な國民は他に無い。又、日本人程暹羅人に教育を授け世話をするために私財を投する様な國民は他に無い。日本國家

程暹羅と親善關係を促進するために人物養成に努力する國は他に無い。例へば暹羅協會、三井暹羅室の如きである。日本の有識者は暹羅學生の一身に心を配り學生の惡習に感染せぬ様にと常に忠告をして呉れる。余は各國を巡歷したが日本の有識者程、親切なる人々に曾て出遭ふた事は無い。

歐米に留學してゐる暹羅學生に屢々奇怪な質問を受け其都度「我々は暹羅人である」と答へる。例へば和蘭に於ては我々を「瓜哇人なり」と解釋し、佛蘭西にては「印度支那人（安南或は東南亞人）」と解釋してゐる。又、英國にては「緬甸人」と見做し、米國にては「比律賓人」と想像されてゐる。暹羅國は何處にあるかと云ふことは誰でも知らない。然るに日本人は我々を「暹羅人なり」と正解し且つ、暹羅の位置をよく知り、而かも我に對して好意を有してゐる。斯かる状況なるにも不拘暹羅學生中、日本國民に對して疑惑の念を持つてゐるのは何如なる理由であらうか？ 簡單に答へる『彼等暹羅學生は自己の理想に餘りにも執着し過ぎる』換言すれば

ば自己の我儘を頑張り過ぎることである。日本人が暹羅學生に對して親切を裝ふてゐるのは暹羅から利益を得んとする目的なのだと解釋してゐる。斯かる誤解は日本國民の折角的好意を毫無にして仕舞ふものだ。此等の諸君は『この世の中の事は全て取引關係の如きものである』ことを氣が付かない。獨り日本人丈ではない。我々暹羅人間と雖も他人から何も要求し度く無いと云ふ者はあるまい。今日要求しなくとも將來要求するであらう。日本人に對して不審の念を抱ける諸君は一方の利益を考へ他方に犠牲を拂ひ度くないと云ふ考からして斯かる錯誤が生ずるので。若し日本人が我々に「得んとするために與へんとする』ならば『未だ與へ様とせずして攫んで取らうとする』歐米人よりも遙かに良いではなからうか？ 我々はこの事實を苦い經驗に依つて數回嘗めさせられてゐる。歴史に示された通り決して忘れてはならない。

我々の生命は金錢によつてのみ支配されてゐるのではなく、物質的にも精神的にも形成されてゐる。或る日本

人は物質的利益を欲求してゐる者あるは事實だが又、精神的利益を欲求してゐる者も少くない『日本は暹羅を植民地にしやうと欲してゐる』かの如く誤解してゐる暹羅人ありとせば、それは痴夢に耽つてゐると言ふべきだ。斯かる夢遊論者がその痴夢から覺醒したときは諸君の領土は既に西洋人に悉皆掠略されてゐるだらう。東洋を西洋人の魔手から擁護して呉れるのは日本を描いて誰であらうか？

尙もう一つ日本人を嫌ふ諸君は西洋にて未だ経験をしない故に少數の或る吝嗇い偏狹な卑しい日本人から冷遇されるときには、早合點をして全日本國民を非難してしまふ。更に一般の日本人を嫌忌する迄に達して仕舞ふ。それなのに、まだ自分は愛國主義者であるからして日本人を嫌ふのだと云ふ。これは大きな誤解だ、慎重に物事を考慮しない事から生ずる間違だ。斯かる諸君は曇つた心と邪念を持つて居るので、正義の觀念がないからだ、そしてこれ等の『嫌ひだ』と云ふ事は劣等性（Inferiority complex）から出發した根據だ。（例を擧ぐればBはAよりも勝れてゐるからAがBを羨む。又Aが自分自身を低く評價してゐるから自然とBを嫉むやうになる。）

純粹なる愛國心は他國民を忌み嫌ふことは必ずしも一致しない。眞に自國を愛してゐる人は他國をも愛する一面に自國を愛し他面に他國を排斥するならば、それは眞の愛國者とは言へない。頑迷なる愛國者である。遂に自國否認とも解釋出来る。何故なれば他國を忌み嫌ふことは、自國に没落を齎す確實性があるからである。余は斯かる事を訴ふるは衷心諸君に對して厚意を有するからで、諸君は之に由て自覺され考慮されば望外の幸である。余は日本を愛してゐるから日本の味方をするのだと思はるゝならばそれは大なる間違である。

× × ×

第二に欣快と存する三點を述べて見やう。

一、留日暹羅學生中には前述の如き偏狹なる思想を有する者よりも寛大にして精神的文明に目醒めたる諸君の方が多數を占めて居らるゝは實に喜ぶべき事である。これら等の諸君は善く日本人の特質を理解し日本人を忌み嫌

ふことなく、却て感謝の念を拂ふてゐる。

二、學生中には國際間の政治を理解し現在に於ても將來に於ても日暹提携の必要を痛感して居る賢明なる諸君もある。以前は英佛に頼つて我々の自由を保證して來たが今日は我々を援助して呉れるのは日本である。暹羅の危機は亞細亞から起らうない。恐らくは歐洲ファッショ獨裁政治國から襲ふであらう（民主主義國からではない）

三、日本留學を終へたる學生は他國の留學を終へたる學生よりも優秀なりと自慢をしても差支ない。如何となれば諸君は彼等よりも長い間非常なる辛酸を嘗め、日本語修得に容易ならざる努力をして來たのだ。而して歐米と比較して快樂、贊澤、面白味等は日本には歟ない。然し日本に於ける教育は歐米と同じく發達してゐる。或る學科の如きは歐米のそれよりも優れてゐる。暹羅政府は現今歐洲歸りの留學生程に日本よりの留學生を評價しないが、諸君は自分自身の克ち得た實力が幸にも彼等よりも優つてゐると云ふことを自負して宣敷い。何となれば同様なる學位を貰ふには彼等よりも奮闘しなければなら

ぬ。近き将来に於て暹羅の政治家はこの事實を顧みて自己の誤解であつたと云ふ事に気が附くであらう。若しも余は自分の助手を選ばんとするならば歐米教育を受けた者よりも日本にて教育を卒へた人々を採用せんと欲するのである。これは個人的に疎々するのではない。一般的に忠告するのである。日本にて教養を受けた人は歐米にて受けた人よりも遙かに深い根據を有してゐる。内容の充實したる教育、忍耐、非常なる努力をなさずんば成功是不可能である。

希くば暹羅國民が諸君の偉大性を認識する様に諸君の努力奮闘を切望して已まぬものである。

ルアン・ラディット氏金言  
『すべての事を爲すの際、時と處とを考慮せざるべき

### ○シンゴラ港開港

暹羅經濟省は盤谷港改築工事を進める一方、更に馬來半島ソンカラ（外人はシンゴラと稱す）に貿易港を建設することになった。政府が今回シンゴラに貿易港を開港した所以は商業の發展は市場への門戸をなす港の改善に待たねばならぬのであるが、馬來半島方面は從來新嘉坡及彼南を仲介港とし、莫大な運賃と時日を要し、其他幾多の不便ある爲、商人の利益の大部を減殺し、商品も高價とならざるを得ない状態にあつた。シンゴラ港完成の曉は、此等の不便は一掃され、南部暹羅の門戸となるであらう。

（暹羅海軍雜誌）

### ○日本製機關車

暹羅鐵道局の注文に係る日本製機關車八臺が五月二十六日神戸發船谷に向ふ三井物産汽船利山丸により積送され、同時に

日本鐵道局の機關士一名と、右機關車を製造した四大會社より四人の技師が同船し、機關車の組立て及び操縦法を運人に教へることになつて居る。

右は昨年度分に續く暹羅政府よりの第二回目の注文によつて製作せられたもので、軌間一米、最大時速四〇杆、木炭を燃料とする輕機關車である。

（三八・六・一五—B・T）

### ○暹羅潛水艦盤谷著狀況

暹羅の新潛水艦四隻は六月二十九日午後盤谷の王室波止場に到着公式歡迎を受けた。當日は雨天にも拘はらず、出迎人多數に上り盛會であった。潛水艦は四隻共同型、同噸數で（三七〇噸）各々速射砲及び水雷發射管を裝備して居る暹羅海軍最初のものである。

式場内には攝政首座アテツト・ディバヤ・アバ殿下を初め、

攝政チヤオ・ビヤー・ビチャイゼン・ヨーテイン、バホン首相、

村井日本公使等の顔が見受けられた。潛水艦が波止場に到着するや熱狂せる出迎人は乗組員一同に對し、萬歳の歡呼を浴びせ

乗組員中には海軍長官と共にバクナム送出迎へられた國防大臣ルワン・ビブン大佐の姿も見出された。

水浴後乗組將校一同は國防大臣侍立の上、攝政宮殿下に拜謁仰付けられ、又バホン首相及び國民議會議長ラヤー・マオ・ワードト・セーウイ氏より一同に對し夫々祝賀の挨拶あつて後

攝政宮初め顯官一同は之等暹羅海軍の新銳を巡閣せられた。

尚ほ最近到着した暹羅海軍最初の日本製二人乘海軍機六機は當日王室波止場附近の廣場に臨時格納庫を設けて一般の觀覽に供せられた。

以上四潜水艦及び六臺の海軍飛行機の受納及び傳油式は目下日本より回航中の砲艦アユチャヤ號の到着を待つて合同して行はれる由である。

### ○潛水艦の性能に就て

（七月二十八日、盤谷タイムス所載）

盤谷築港計畫の第一期工事契約は去る七月月中暹羅政府と在盤谷 Messrs. Christiania and Nielsen (Siam) 商會との間に成立調印された。右は二つの工事の契約で、一は經費三百六十萬銖、他は其の補足とも云ふべきもので經費百七十萬銖とのことである。契約書は使用勞働者の半數は暹羅人たるべきことを規定し

八節で動力は電槽裝置に待たねばならない。

潛水に要する時間は若し準備が充分に行届いてさへ居れば一分間に充分潜ることが出来る。又潛水深度については言明を避け、今日迄の試験に於いては一五乃至一六米以上に上つて居ない。又充分に酸素を補給せば二〇時間滞水する能力がある。マッチャーニス及びウイルン兩號は約四〇回に亘り潛水したが他の二艦は二三回テストしたのみである。

日本より暹羅への廿四日間の回航日誌中で最も骨が折れたのはフリーリッピン及びサッタヒープ海軍根據地の間で、惡氣流と新鮮食料の缺乏には隨分悩まされた。

（七・一—B・T）

### ○盤谷築港の第一期契約調印さる

て居り、又材料の大部分（即ち岸壁、其他工事に必要なる木材セメント、砂利等）は國內資源を以つて充當するとのことである。

契約成立の工事は簡単に云へばモーター船用の小船渠の建造で、アジアチックペトロリアム會社用地からプラカノン運河に至る千七百米突間河岸の岸壁及びその上に建てられる上屋の建造である。岸壁は干潮時に十米突の水深を保ち得るやう作られる管である。築港工事は契約調印後三ヶ月間以内に着手し、全工事は四十六ヶ月——即ち四ヶ年足らずの間に竣工となつて居る。

暹羅政府は過般本工事指導者として歐洲の建築學界に於て著名なる「アーノルド・アガツ」博士を政府顧問として傭聘した。

## ○ 盤谷市行政部の火葬場

### 設置

（五月五日、暹羅紙ネーション所載）

盤谷市行政部では今回豫算四萬バーツを以て近代的施設に依る火葬場を盤谷市に設置することとなつた。從來の火葬方法は

極めて非衛生的で周囲の民家に非常なる迷惑を及ぼして居たものであるが、これが缺陷を除去するために電氣爐を使用することとなるとのことである。この設置は社會事業的性質を帶び貧困者救濟の目的より出でたるものであるが、一般民衆にも便宜を與へ、又在來の宗教的儀式を行ふに充分なる土地の買賣費も豫算中に含まれてゐる。

## ○ 元佛領印度支那總督談

『日暹間に密約あり云々』

（五月二十五日、暹羅紙ネーション所載）

最近太平洋問題討議委員會席上、元佛領印度支那總督エム・ワーレン氏は日暹間の關係に就て講演を試みた。この講演は印度支那の某新聞に『印度支那の將來及東亞の狀況』と題して掲載された。その要旨は次の通りである。

余は『日暹間に密約あり』と考へる。而してこれに對處する

ために、余は佛蘭西政府に新たに政策を替へ、印度支那の產業

を振興し、軍隊を増駐せしめよと提案した。

軍需品工場を印度支那に設置することは急務であつて現在は

單なる砲兵工廠しかない。一朝事ある場合には本國巴里よりの

軍需品の輸送を待たなければならぬ。暹羅は印度支那を脅かしてゐる。暹羅の運命は日本の運命に結付いてゐるのだ。暹羅は

矢張獨裁政治をやつてゐる。カンボチヤに軍隊を駐屯させて貰ひ度い。而して佛領アフリカ、セネカル土人兵のやうに作戦に巧妙なるモーア人軍隊の徵集を要望する。

暹羅は「ラタボーン」（譯者曰、一九〇七年佛國に割譲した地域）を回収せんと企てゝ居る。新たに印度支那總督の政策を變更することが急務である。

日本は安南國王たるべき人物を物色準備して居る。又印度支那獨立を援助する人物をも準備してゐる。支那事變の終つた後は印度支那事變の順番が廻つて来る。其際英國と日本とは接觸するであらう事は豫言出来る。印度支那に聯邦政治を施す必要がある。而して總督に多くの権限を與へて軍隊をも指揮する權能を與へるべしである。

英國の殖民政策を眞似するのは統治上不得策だ云々。

## ○暹羅國政府支那人教師の解僕發表

盤谷來電に依れば、暹羅に於ける親日排支傾向は、今次事變

長	七五、〇〇〇米
幅	一三、四一〇米
吃	四、二一五米
排水量	二、二六五噸
速	一五、五節

## ○暹羅國海軍砲艦トンブリ

### 一受渡式舉行

本年一月三十一日神戶川崎造船所に於て、進水式を舉行した暹羅國海軍砲艦トンブリーは工事竣成、其の受渡式が、去る八月五日同所で嚴かに行はれた。駐日暹羅公使ビヤ・シー・セナ氏、艦政本部第四部長桑原海軍造船中將を初め多數の參列があつた。本艦要目は次の通りである。

九月十六日

○暹羅國海軍砲艦トンブリ  
一横濱寄航

去る八月五日神戸川崎造船所に於て受渡を了した砲艦トンブリは、暹羅國海軍より我邦への注文中最後に竣工したものなるが、今般同國へ廻航に際し我海軍に暇乞勞敬意を表する爲め、九月十一日神戸港出發同十二日午後横濱港に寄航、神奈川區高島町第二號棧橋D號に繫留六日間碇泊の上、十八日出發暹羅國へ廻航の途に就いた。

尙ほ同艦には艦長ルアン・ナワヴィット中佐以下百五十六名が乗組み居り、碇泊中のプログラムは左の通りであった。

九月十三日 午前 中	横濱暹羅領事館、神奈川縣知事、横濱税關長、横濱市長訪問
午 後	暹羅公使館、海軍省訪問
同自四 午後零時 五 分	暹羅公使館に於て公使主催歡迎茶會
九月十四日	水交社に於て海軍次官主催歡迎
午餐會	帝國海軍當局者砲艦視察
九月十五日	横須賀鎮守府見學

曩に昭和十年八月來朝以來約三ヶ月年三井暹羅室に於て、佑々として我國の實情特に財政、經濟、產業方面を研究調査中であつた元暹羅國經濟大臣abra・ラサス氏は、今般歸國せらるゝこととなり歸國前、六月初旬より約三週間に亘り滿洲國を觀察一度歸京の上去る六月廿九日東京出發暹羅の途に就かれたが、二ヶ月後には再び來朝せらるゝ由。

因に本會に於ても同氏の爲め送別會を開催する旨であつたが同氏の都合で之れを中止し、岡部理事長が特に一夕同氏を招じ日暹關係に付隨意なき意見の交換を遂げられた。

乗組員半數上陸、終日東京市内見物  
(海軍參考館に於て海軍省より午餐饗應)

九月十七日

午後自二時至四時  
軍艦に於てアトホーム  
(半數上陸、終日東京市内見物(海軍参考館に於て海軍省より午餐饗應))

○元暹羅國經濟大臣abra・ラサス氏歸暹

abra・ラサス氏歸暹

佐、並に前三井物産盤谷支店長(前盤谷日本商工會議所會頭)平野郡司兩氏の歡迎午餐會を開催した。席上岡部理事長の挨拶に次ぎ中堂、平野兩氏より、夫々謝辭並暹羅に關する有益なる談話あり、大いに裨益する所があつた。

○齊藤陸軍武官著任

新設駐公使館商務書記官に任命せられた田澤丈夫氏は、初代商務書記官として、去る七月十八日東京出發赴任の途に就かれたが、同月下旬盤谷に着任せられた旨、同氏より來信があつた。

○前駐暹公使館附陸軍武官  
田村大佐歸朝

過般齊藤中佐と交替せられた前駐暹公使館附陸軍武官田村浩平佐は、盤谷在勤一年八ヶ月にして、去る八月下旬歸朝せられたが、直に某要職に就き本月戰線に向はれた。

因に本協會に於て歡迎會を開催すべく準備中であつたが、大佐公務多用の爲め其機會を得なかつたことは遺憾であつた。

○中堂海軍中佐並平野前三位

井物産盤谷支店長の歡迎  
午餐會

去る八月二日正午丸之内東京會館に於て、本會と三井物産盤谷支店長の合同で、最近歸朝せられた前駐暹公使館附武官中堂海軍中佐が任命せられ、六月三十日附を以て左の通り發令があつた。

任公使館一等書記官兼總領事(三)

(暹羅國、盤谷在勤)

### ○暹羅國燃料局長再び來朝

去る四月下旬本邦經由渡米せられた暹羅國々防省燃料局長ワニッヂ・バナバンダ氏は、歸國の途次又々八月下旬我邦に立寄り、九月十九日神戸發大阪商船盤谷丸にて歸還の途に就かれた

### ○暹羅國視察旅行學生團の送別茶會開催

去る七月四日満鐵ビル内あじあに於て、本會の主催で夏期休暇を利用して視察研究の爲め暹羅國へ旅行する商科大學々生七名並專修大學々生六名の、送別茶會を開催した。當日は特に曾て暹羅國に在留又は旅行せられたことのある方々の出席を煩はし、席上岡部理事長の激励の辭に次で學生代表の謝辭あり、浅野研真師及磯畠美知博士より暹羅旅行に付ての有益なる談話あり、一同頗る満足して散會した。

曩に暹羅國チナウオン法親王殿下より、日暹親善佛教興隆の厚き御恩召を以て、親王常隨御崇拜の佛舍利を信州善光寺へ贈られることとなり、先般中堂海軍武官が之れを捧持して歸朝せられたので、去る七月二十二日芝水交社に於て、其の傳達式が嚴かに舉行せられた。  
尚ほ更に同二十四日には善光寺に於て、莊嚴且つ盛大なる奉安式が舉行された。

### ○暹羅國留学生の善行

日白暹羅學生會館在宿の商科大學生バンチヨン君外四名が、夏期休暇を利用して房州館山北條へ避暑中八月十一日、偶々ヨットを操縦して灣内を遊行して居た所、同じく日本人の男女二名が操縦して居たヨットが顕覆して、危く溺死せんとしたのを見て學生五名が協力して之れを救助したと云ふ事件があつた。右男女は某商店の使用人で、其の主人が非常に喜んで態々日白暹羅學生會館へ謝禮に來た由であるが、洵に賞すべき行爲である。

る次第である、本會から遠山主事が御弔問申上げた。

### ○暹羅大野象狩（クロングチヤング）映畫の試寫會

過般暹羅國ロブリーに於て三十五年振りに催されたと云ふ同國一世紀に一回の行事である、大野象狩の實況を撮影の爲め合

同商事映畫部と日活の撮影隊が渡邉したが、此程其の映畫が完成したので、九月十三日帝國劇場に於て、合同商事映畫部主催外務省文化事業部並駐日暹羅公使館の後援で、其の試寫會が開催された。

同映畫は野象狩を主としたものであるが、其れ以外にも同國の人情、風俗、生活状態乃至は景色等をも取入れたもので、中々珍らしく参考となる面白い映畫である。

### ○計

### 報

本會々員東森藏氏は暹羅國內務省に土木技師として併聘され約三ヶ月間勤務されたが、最近健康を害し去る六月十八日歸朝爾來神奈川縣大浦町西浦海濱病院に於て専ら病氣療養中の所、病革まゝ九月十二日終に逝去されたことは、洵に哀悼に堪へざつた。

近衛文麿公（會長）此程來左記御新居に常住せられることとなつた。

杉並區西田町一ノ七四三

（電話四谷35-500-1103-3533）

有田八郎氏（名譽會員）今回外務省に新たに認定された外交顧

間に就任せられた。

**矢田部保吉氏**(同上) 一時、築地聖路加病院に入院中の所経過  
良好にて九月十三日退院せられた。

**酒井忠正伯**(理事) 去る八月三十日、北京に開催された東亞文  
教協會創立大會に日本側代表一行の團長として出席、九月中

司歸朝された。  
**三島通陽子**(常務理事) 去る七月一日横濱出帆の平安丸にて米  
國經由渡歐の途に上られ、爾來伊太利及び獨逸に於て少年派  
遣團長として御活躍中であつたが、其の後和蘭、波蘭の萬國  
議員會議へも出席せられ、右終了後は再び米國經由で十一月  
下旬歸朝せられた。

**北島多一博士**(理事) 東亞文教協會日本側代表の一員として酒  
井伯等と同行北京に往て來られた。

**正木直彦氏**(評議員) 同 上

**矢田長之助**(常務理事) 去る六月十五日出發以來至極元氣にて  
米國經由歐洲に渡り、爾來英、佛、白、蘭、獨、致、瑞西、  
伊等の諸國の視察を終へ、九月二十五日ナボリより郵船宮崎  
丸に乗船せられた旨來電あり、途中ポートサイド、古倫母を  
経て十月十五日新嘉坡着、此所にて一行と別れて暹羅に立寄

り、數日滞在、歸途佛領印度支那をも観察し十一月中旬歸朝  
せられる筈。

**稻田昌植男** 貴族院選外議員として萬國議員會議に出席する外  
札幌大會實行委員會事務局長として去る六月渡歐以來、歐洲  
諸國を歷訪御活動中の由。

**大山周三氏** 商省監査駐在員として永らく彼の地で活躍中、  
去る七月初旬一時歸朝せられ自下滞京中である、又其の内渡  
暹羅を歷訪御活動中の由。

## ○寄贈圖書

左の通り各々寄贈を受け厚く感謝する次第である。

1、The Directory for Bangkok and Siam(B. E. 2481)

1、在暹日本公使館

1、日暹協會々報第四號(暹羅語)

1、在盤谷日暹協會

1、南洋叢書第四卷シヤム篇(東亞經濟調査局)

1、東亞經濟調查局

1、日暹會話便覽(海軍大佐 八代祐吉)

1、在盤谷日暹協會

1、南洋農業資源論(伊藤兆司)

1、伊藤兆司氏

1、少年滿洲讀本(長與善郎) 一部 滿鐵東京滿鮮案内所

1、Contemporary Manchuria(Vol. II, No. 4, July, 1938)

1、滿鐵東京支社

1、Contemporary Manchuria(Vol. II, No. 5, Sep., 1938)

1、滿鐵東京支社

1、Contemporary Manchuria(Vol. II, No. 6, Nov., 1938)

1、滿鐵東京支社

1、Contemporary Manchuria(Vol. II, No. 7, Dec., 1938)

1、滿鐵東京支社

1、Contemporary Manchuria(Vol. II, No. 8, Feb., 1939)

1、滿鐵東京支社

1、Contemporary Manchuria(Vol. II, No. 9, Apr., 1939)

1、滿鐵東京支社

1、Contemporary Manchuria(Vol. II, No. 10, Jun., 1939)

1、滿鐵東京支社

1、Contemporary Manchuria(Vol. II, No. 11, Aug., 1939)

1、滿鐵東京支社

1、Contemporary Manchuria(Vol. II, No. 12, Oct., 1939)

## ○財團法人暹羅協會總裁及 役員並職員

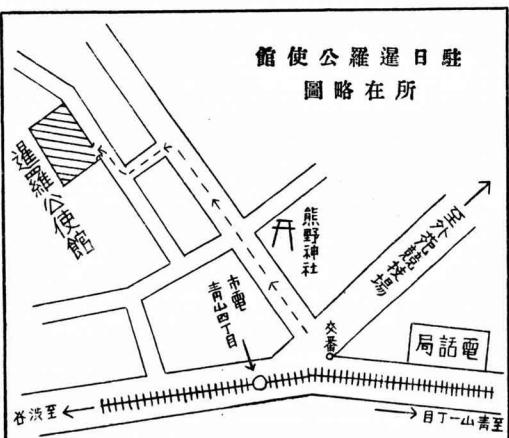
(昭和十三年九月現在)

1、裁秋父宮雍仁親王殿下

1、總裁秋父宮雍仁親王殿下

1、副會長侯爵德川賴貞

評議員  
主事  
監學會學生連羅遲日公使館在所圖略



六九

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 理 同 理 理 務 事 長

子 子 伯 伯 男 男 伯 伯  
爵 爵 文學博士 爵 爵 爵 爵  
醫學博士 爵 爵 見 楠 蔡 藤 田 島 部  
三溝 北酒 浅國二村 南鶴 加大石 伊矢岡  
好口 島井 野府 荒田 條 補 藤 射東 藤田 島部  
重直 多忠 良精 芳省 金吉 次 喜猪 延太郎左衛門  
道亮 一正 三一 德藏 雄平 郎吉 助陽景

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 評 同 監 事  
評議員

子 子 公 侯  
爵 爵 文學博士 爵 爵 爵 爵  
醫學博士 北安 出江 覆正 倉黑 高加 河岡 岡德 細犬 井藤 門  
島住 渾口 並木 田田 楠藤 藤井 崎川 川九 上山 野  
多三 伊勝 定充 直猛 長泰 勝泰 獅彌 久團 護徹 雷  
一郎 次條 造彦 敬郎 郎通 八郎 順立 三二 太郎

六八

日本—盤谷航路定期出帆表

(昭和十三年九月以降)

大阪商船會社

明 乾 石 祥 山 丸 丸	三井物產船舶部	盤 谷 貢 貢 谷 丸 丸 八	西 西 盤 谷 九 一〇、 一四 八	月橫 日演
		二、 三、 八	一、 二、 三、 九	月名 古 屋
		二、 三、 九	一、 二、 四、 九	月大 阪
		二、 三、 九	一、 二、 四、 一七	月神 戶
		二、 三、 三	一、 二、 一九	月門 司
		二、 三、 四	一、 二、 一四	月基 陸
		二、 三、 七	一、 二、 一七	月海 防
		二、 三、 三	一、 二、 一三	月西 日貴
		二、 二、 六	一、 二、 一六	月盤 谷
		二、 二、 五	一、 二、 一三	日着

昭和十三年九月

會報第十二號附錄

暹羅國現行輸出入關稅率表

—暹羅國現行輸出入關稅率表—は本年七月貿易組合中央會より關稅調査  
第號として發行されたものであるが有益なる参考資料であるので、  
特に貿易組合中央會の許可を得て茲に轉載することとした。

凡例

暹羅國ニ於ケル貨幣單位ハ銖ヲ使用セラル

銖ハ「バート」(Bahr)トモ云ヒ一〇〇士丹(Satang)ヲ以テ一銖トス

(一銖ハ邦貨約一圓五十九錢)(十三年六月二十一日現在)

目次

類別

一、食糧品

一、肉及魚

二、牛乳、酪農製品、豚脂、卵、其他

三、野菜及果實

四、茶、珈琲及コ、ア

五、調味用植物性香料、ソース、薑味及チユトニーズ其他

六、穀物、麥粉及同製品

七、砂糖及同製品

八、其他ノ食糧品

二、アルコール、含酒精飲料並ニ酢類

九、同上

三、原科品

一〇、各種原料並ニ物産

四、織物以外ノ製造商品

一一、化學藥品、醫藥品、化粧品

一二、陶器、窯器類

五、織物

二八、織物及同製品

六、輸入免稅品

二九、免稅品

七、從價課稅商品

三〇、其他一切ノ商品

暹羅國現行輸入關稅率

(昭和十三年一月現在)

◎第一類 食糧品

稅番品	名	從價課稅單位	稅率
		稅單位當率	率
▲第一部 肉及魚			
一 各種肉類(屠殺獸鷄肉 ヲ含ム)	(a)生、或ハ冷凍モノ (b)ハム及ベーコン、 燻製バイン、肉精、其他 ヲ含ム)	莊 ○・一八	
二 魚(甲殻類及軟體魚類 ヲ含ム)	(c)生、或ハ冷凍モノ (d)貝柱 (e)海參 (f)其の他(但シ乾燥 ルモノ)、 (g)其の他(但シ乾燥 タルカ又ハ簡便セラ タルモノ)加	○・三七	
三 野菜及果實	(容器共)	○・三七	
四 牛乳、酪農製品、豚脂、卵、其他	(容器共)	○・一九	
五 幼兒用ミルク(ド及 乾燥牛乳、其の他ノ項目及 其の他ノ項目)	○・一〇%		
六 バター、牛酪油	莊 ○・一五		
七 脂肪及ラード代用品 マーガリン及同種バタ ー代用品	○・一〇		
八 チーズ	○・一八		
九 ルモノ、 チーズ	○・三六		
一〇 清(魚加工或ハ料理シタ ルモノ)	○・〇八		
▲第三部 野菜及果實	(容器共)	○・〇五	
一一 各種野菜(罐又ハ其他 ノエアタイト容器入) 野菜(罐又ハ其他ノエ アタイト容器入以外ノエ モノ)	○・一〇		
一二 (a)干松茸及菌類 (b)干葫 (c)乾玉葱 (d)乾鹽漬キヤベージ (e)馬鈴薯 (f)其他ノ種類但シ生 セヌモノ	○・一〇 ○・一〇 ○・一〇 ○・一〇 ○・一〇 ○・一〇		
一三 備考	(a)清(コマツ)ト (b)各種生及鹽漬果實 レザルモノ)、 生(レザル含ム)	○・一〇	
一四 備考	(a)椰子(コマツ)ト (b)其他ノ項目(落花 レザル含ム)	○・一〇	
一五 備考	輸送中保護ノ目的ヲ以テ海水、硫酸水或ハ其 他ノ溶液ニ入レ輸入サレタル果實ヲ含ム	○・一〇	
一六 備考	(c)乾燥シタルカ或 マレザルモノ)	○・一〇	
一七 備考	(f)Kongchai, Kiamboi, Toakem, etc.,	○・一八	

(a)鮭  
(b)其他  
魚(甲殼類及軟體魚類  
ヲ含ム)、罐又ハエニア  
イト容器入以外ノモノ)

(a)鳥賀  
(b)アラチヤン  
(c)鱸、鰆及鮑

(d)貝柱

(e)海參

(f)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)、  
タルカ又ハ簡便セラ  
タルモノ)

(g)其の他(但シ乾燥  
タルカ又ハ簡便セラ  
タルモノ)加

(h)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(i)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(j)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(k)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(l)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(m)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(n)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(o)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(p)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(q)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(r)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(s)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(t)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(u)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(v)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(w)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(x)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(y)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(z)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(aa)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(bb)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(cc)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(dd)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(ee)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(ff)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(gg)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(hh)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(ii)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(jj)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(kk)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(ll)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(mm)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(nn)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(oo)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(pp)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(qq)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(rr)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(ss)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(tt)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(uu)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(vv)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(ww)其の他(但シ乾燥  
ルモノ)

(d) キヤンデート爲シ

セシメタル結晶化

タカルデート爲シ

班 ○・一〇

班 ○・一〇

トマトイズ  
トト汁、味噌  
コル性及香  
味用ヤムスアブツ

四

班 ○・二二

#### ▲第四部 茶、珈琲、コーコー

班 ○・一〇

班 ○・一〇

#### 五 茶

珈琲、珈琲ト「キクニ  
ガナーノ混合物、珈琲  
粉及ア「豆」ノモ」

班 ○・一〇

#### 六 珈琲、珈琲ト「キクニ ガナーノ混合物、珈琲 粉及ア「豆」ノモ」

ガナーノ混合物、珈琲  
粉及ア「豆」ノモ」

班 ○・一〇

#### 七 芥子

香料(醫藥、草木使用セラ  
ル種子、果实、草木以外部位  
モノニシテ他明記サレザルモノ)

班 ○・一〇

#### 八 香料(醫藥、草木使用セラ ル種子、果实、草木以外部位 モノニシテ他明記サレザルモノ)

香料(醫藥、草木使用セラ  
ル種子、果实、草木以外部位  
モノニシテ他明記サレザルモノ)

班 ○・一〇

#### 九 粉末

(a) 粉末ナラザルモノ  
(b) 粉末

班 ○・一〇

#### 一〇 味噌等

及同種品  
ブランチヤン及同種魚ソ

班 ○・一〇

#### 一一 醬

各種ソース(他ノ項目  
含マレザルモノ)

班 ○・一〇

#### 一二 醬

及同種品  
ビランチヤン及同種魚ソ

班 ○・一〇

#### 一三 薑粉

麥芽  
未ダ粉未状物  
但シ麦芽除ク(穀類碎

班 ○・一〇

#### 一四 麥芽

麥芽  
未ダ粉未状物  
但シ麦芽除ク(穀類碎

班 ○・一〇

#### 一五 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 一六 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 一七 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 一八 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 一九 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 二〇 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 二一 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 二二 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 二三 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 二四 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 二五 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 二六 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 二七 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 二八 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 二九 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 三〇 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### 三一 蔡粉

(a) 蔡粉  
(b) 其他(他ノ項目  
含セザル)

班 ○・一〇

#### ○第二類 アルコール、其他アルコ ール含有飲料並ニ酢類

税番品名從價課稅單位稅率

品並名セラムニ下ス、タウ  
ソラレニヨシ及日本本イド  
レ冠ザル高めタラスル止  
ラスル代酒種ノ課ノ含

(a) 麦酒(強ビール、黒ビ  
ル、ラスル止ラスル代酒種  
ノ課ノ含)

(b) 葡萄酒

(c) ブランデー、ソーラム  
ン及ソーラノ模造ジイ

付純アルコール  
立キ立五〇〇

バルク、立  
〇・一五

#### ○第三類 アルコール、其他アルコ ール含有飲料並ニ酢類

税番品名從價課稅單位稅率

品並名セラムニ下ス、タウ  
ソラレニヨシ及日本本イド  
レ冠ザル高めタラスル止  
ラスル止ラスル代酒種  
ノ課ノ含

(a) 麦酒(強ビール、黒ビ  
ル、ラスル止ラスル代酒種  
ノ課ノ含)

(b) 葡萄酒

(c) ブランデー、ソーラム  
ン及ソーラノ模造ジイ

付純アルコール  
立キ立五〇〇

バルク、立  
〇・一五

五 最低課稅率  
二・五〇





























トレニシニテ使  
トレスアルノモ  
入サル者ニ遇  
タルヨリモヨリ  
ノリニ品ノ輸居  
メニ爲

(c) 行用主ガ携  
トツル面及馬  
旅用馬及馬乘  
乗用スル機  
ボロ用馬及馬  
乗用スル機

(d) 可視可  
定的ニ過  
入サル者ニヨ  
但シ綠音除  
ム、圓盤又ハ  
物ヲ船又ハフ  
ノ物ヲ除ク其  
他

(e) 過羅ニ  
休暇ヲ過テ  
ツ狩獵ヲナス  
録入サレタリ  
モテ在メ候ニ  
入セル者或ヒ  
但シ綠音除  
ム、圓盤又ハ  
物ヲ船又ハフ  
ノ物ヲ除ク其  
他

(f) 公衆  
モノ販賣  
ラルベキ物  
品ニ供セ  
モノ販賣  
ニ非ザルモ  
テ販賣用キ  
物品メスル  
件

(g) 稅關長  
コトアフル  
ニ准レタル  
ガジルベ  
カルベキ  
商品ニ合  
マレ

一六三  
無税  
受出再輸  
出内等改  
税  
無税  
無税  
無税

一六四  
無税  
受出再輸  
出内等改  
税  
無税  
無税  
無税

一六五  
無税  
備考  
本項ノ下ニ容器ニ課税セル場合容器ノ申告ハ  
税關ノ輸入申告書面ニ別々ニナスヲ要ス  
税率ハ容器ガ本關稅率表ノ他ノ項目ニ該當ス  
ル場合ノ外除キ稅番一六七ノ稅率ヲ適用ス

一六六  
無税  
阿片專賣局用  
阿片無  
藏省ガ輸入シタル阿片無  
税  
無税  
無税  
無税

◎第七類 一般從價稅ヲ課セラル可半商品

一六七  
税番品  
名  
從價  
課稅單位  
率

一六八  
税番品  
名  
從價  
課稅單位  
率

一六九  
税番品  
名  
從價  
課稅單位  
率

(輸入稅率完)

一七〇  
税番品  
名  
從價  
課稅單位  
率

(輸出關稅率完)

遷羅國現行輸出關稅率

(昭和十三年一月現在)

税番品	名	從價 課稅單位	稅 率
穀			
玄米			
玄米 碎米		每標準擔 ○・一八四	○・一七四
玄米 碎米		○・一九四	○・一九四
白米		○・一九四	○・一九四
白米		○・一七四	○・一七四

〔非賣品〕

昭和十三年九月二十五日 印刷納本

昭和十三年九月三十日 発行

東京市麹町區霞ヶ関三丁目四番地三

發行所 法財團

遙 羅 協 會

電話 銀座二六五

振替口座 東京一四八三一番

編 輯 人 兼 遠 山 峻

東京市淀橋區戸塚町一丁目二二〇番地

印 刷 人 河 田 保 治

東京市淀橋區戸塚町一丁目二二〇番地

印 刷 所 明 立 印 刷 株 式 會 社

